



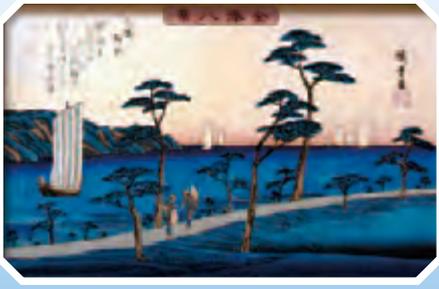
海と緑のハーモニータウン金沢

いきいき

金沢

・ささえあいプラン

第3期金沢区地域福祉保健計画



安心して暮らせる支えあいのまちづくりを目指して

平成 18 年にスタートした金沢区地域福祉保健計画は 2 期 10 年の積み重ねを経て、3 期目を迎えることとなりました。この間、区の人口動態をみますと、総人口の減少と高齢化率の上昇が進んでいます。さらに今後は、75 歳以上人口の急増が見込まれており、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための「地域包括ケアシステム」の構築をはじめ、子育て支援や区の魅力を発信するなど、次の 10 年を見据えた取組の重要性が増しています。

一方で、金沢区は古来より風光明媚な地として知られ、名所・旧跡など歴史的、文化的遺産も多い魅力あるまちです。区民の皆様を対象としたアンケート調査の結果からは、これからも金沢区に住み続けたいという高い定住意向もうかがえました。

本計画の理念には、このまちに住みたいと思う人が「住み続けられる」まちにしていこうという思いが込められています。その実現に向けては、行政だけの力では限界があります。地域の皆さまをはじめ、多様な主体同士がつながり、連携しながら取り組むことの重要性がよりいっそう増していくものと考えております。

計画の策定にあたりましては、アンケート調査へのご協力をはじめ、地区ごとの検討会等を通じて地域の皆さまと共に考える機会をもつことができました。計画に掲げられた目標の実現に向けて、共に挑戦し、取組を推進してまいりたいと考えておりますので、引き続き、御支援・御協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月 金沢区長 國原 章弘



金沢区社会福祉協議会は、金沢区とともに、平成 23 年度から行政計画である「地域福祉保健計画」と住民の視点に立った社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を一体化した「第 2 期金沢区地域福祉保健計画」を推進してまいりました。これまでの地域の皆様の多大な御尽力、御協力に対し、改めて感謝申し上げます。前期計画策定後の社会状況の変化や「暮らしや地域に関する意識調査」の結果、さらに各地区ごとの地区推進連絡会での意見を踏まえ、新たに第 3 期地域福祉保健計画を策定いたしました。

地域を取り巻く状況は少子高齢社会の進展とともに、人口減少や世帯規模の縮小傾向が進んでいるほか、家族形態も変容しつつあり、これまで以上に地域を基盤とした切れ目のない支援体制づくりと、身近な地域の支えあい活動をはじめとした福祉力を高めていくことが求められています。

第 3 期地域福祉保健計画は、このような地域を取り巻く状況に対応するため第 2 期計画の理念を継承しながら「誰もが安心して健やかに住み続けられる支えあいのまちづくり」としました。

この理念は、金沢区社会福祉協議会の活動理念である「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」とも趣旨を同じくするものです。この 2 つの理念の実現を目指すため地域の皆さま、各関係機関の皆さまとともに第 3 期地域福祉保健計画「区域計画」「地区別計画」の取り組みを進めてまいります。どうぞこれからもお力添えを賜りますよう、よろしく願いいたします。

平成 28 年 3 月 社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会 会長 増田 一行



目次

第1章	地域福祉保健計画の概要	1
1	地域福祉保健計画とは	1
2	計画の必要性	1
3	計画の構成	1
4	計画の期間	2
第2章	金沢区全域の計画	3
1	金沢区のまちづくりの特徴	3
2	第3期金沢区地域福祉保健計画の構成	4
3	重点テーマと推進目標	5
	(1)重点テーマⅠ 身近な知りあいを増やし安心の輪を拡大	5
	背景	5
	推進目標1-(1) 多世代が知りあう場づくり	10
	推進目標1-(2) 日常生活の中での多様な見守りや助けあいを推進する仕組みづくり	13
	(2)重点テーマⅡ みんなで健康づくりに取り組みいきいきとしたまちへ	18
	背景	18
	推進目標2 みんなで取り組む楽しい活動をとおした健康づくり	21
	(3)重点テーマⅢ 『得意』や『経験』をいかしてわたしもあなたも地域も元気に	23
	背景	23
	推進目標3 誰もが活躍できる場やきっかけを通じたいきいきと暮らせる地域づくり	25
第3章	地区別計画で目指すこと	28
1	地域と地域支援チームによる協働	28
2	地区別計画	29
第4章	計画の推進体制	57
第5章	資料集	58
1	第2期金沢区地域福祉保健計画(平成23年度～27年度)の振り返り	58
2	第2期計画と第3期計画のつながり	58
3	第3期金沢区地域福祉保健計画の策定経過	59
4	用語解説	60
5	地域で活動する主な団体等	61
6	アンケート調査結果・概要	64
7	委員名簿	65

地域福祉保健計画の概要

1 地域福祉保健計画とは

地域福祉保健計画とは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指し、住民どうしの支えあいを柱として、地域の身近な生活課題の解決に向け、住民・事業者・行政が協働で取り組んでいくための計画です。¹ 横浜市では計画の名称に「保健」を加え、福祉と保健の取組を一体的に推進しています。

2 計画の必要性

急速に高齢化が進むことで、認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加が見込まれています。また、となり近所の関係の希薄化や、価値観の多様化などにより、地域で暮らす人の課題が複雑化しています。これらの課題に対しては医療・介護等の公的なサービスに加えて、身近な地域における「つながり」や「支えあい」がこれまで以上に重要になってきています。このため地域に暮らす人や活動している人と共に考え、取り組んでいくための計画づくりが必要となっています。

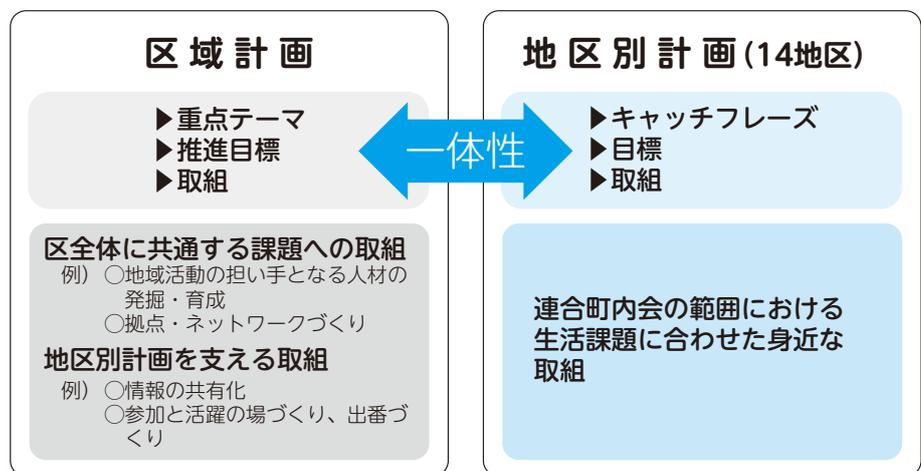
3 計画の構成

金沢区地域福祉保健計画は、「**区域計画**」と「**地区別計画**」で構成されています。

「**区域計画**」は、区全体の共通課題や住民主体の課題解決の支援策等について区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが連携しながら取り組む計画を記載しています。

「**地区別計画**」は、地区ごとの生活課題に対応するため、連合町内会の範囲を単位とした14地区において地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、自治会町内会関係者等が協議し、地域に暮らす人を中心に自ら取り組む計画を記載しています。

「**区域計画**」は「**地区別計画**」の推進を支える計画という側面と、地域福祉保健の向上に向けて区全体で取り組む内容を牽引するという側面の二つの要素を持っています。「**区域計画**」と「**地区別計画**」は地域福祉保健を向上するための車の両輪ということが出来ます。

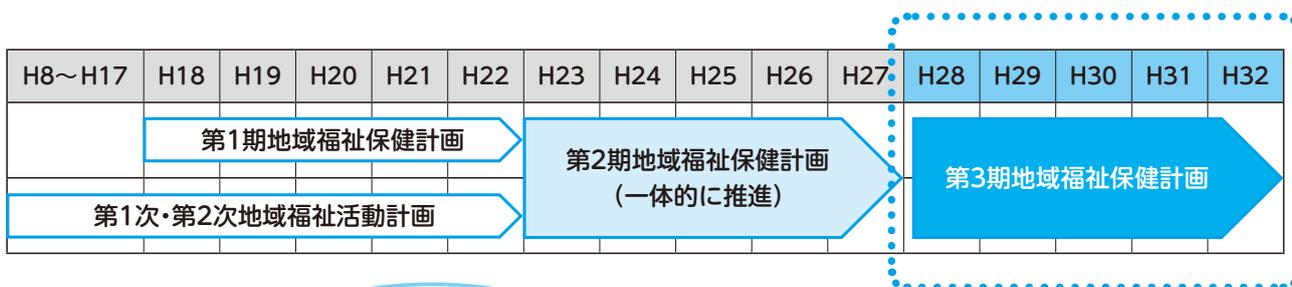


¹ 平成12年に「社会福祉事業法」が「社会福祉法」に改正され、第107条において地域福祉の推進に関する事項を定める計画として市町村地域福祉計画が位置づけられています。

4 計画の期間

金沢区地域福祉保健計画は、これまでに第1期、第2期計画を策定してきました。第2期計画からは、区社会福祉協議会が作成する金沢区地域福祉活動計画と一体的に策定し、関係機関が連携・協働して、区民の「支えあい」を中心に地域の福祉保健活動を推進してきました。

第3期は、平成28年度から32年度までの5年間を対象とする計画です。

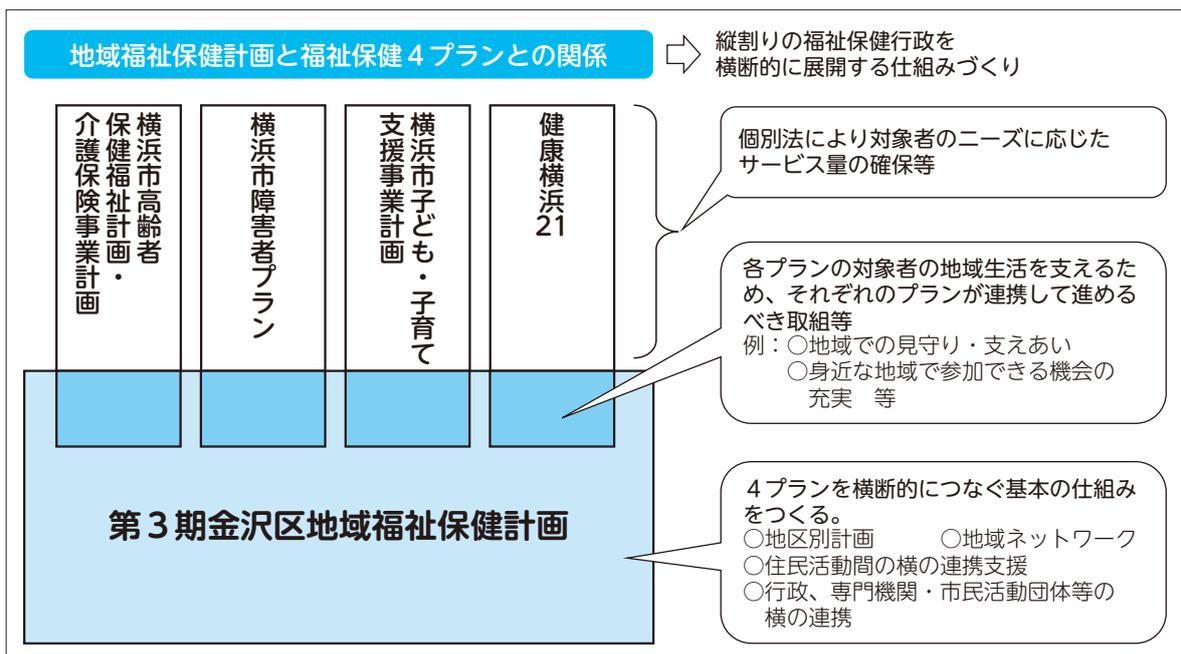


平成32年(2020年)までの計画だよ



福祉保健に関する分野別計画との関係

横浜市では高齢者・障害者・こども・保健分野で法律を根拠とした分野別計画を策定しています。地域福祉保健計画は、地域の視点から各分野別計画の取組の方向性を捉え、区民・事業者・公的機関が連携し横断的に展開していく仕組みづくりの役割を果たします。



金沢区全域の計画

1 金沢区のまちづくりの特徴

金沢区は、少子・高齢化や地球温暖化などの社会的課題に対応するため、地域・企業・大学などとも協働して、「金沢の魅力」、「子育て」、「健康」、「防災」などの取組を進め、誰もが「つながり」を実感できる、安全で安心して健やかに住み続けられる、魅力あふれるまち、「環境未来都市」を目指しています。

人々の暮らしの場である地域における生活課題は福祉や保健の分野に限定されるものではなく、防災や道路整備などのまちづくりの課題とも密接に関連しています。そこで金沢区では、「地域福祉保健計画」と「都市計画マスタープラン金沢区プラン」とで基本目標を共有し、まちの活性化、安全・安心の確保、自然との共生などを踏まえながら、**安心して暮らし続けることができるまち**の実現を目指します。

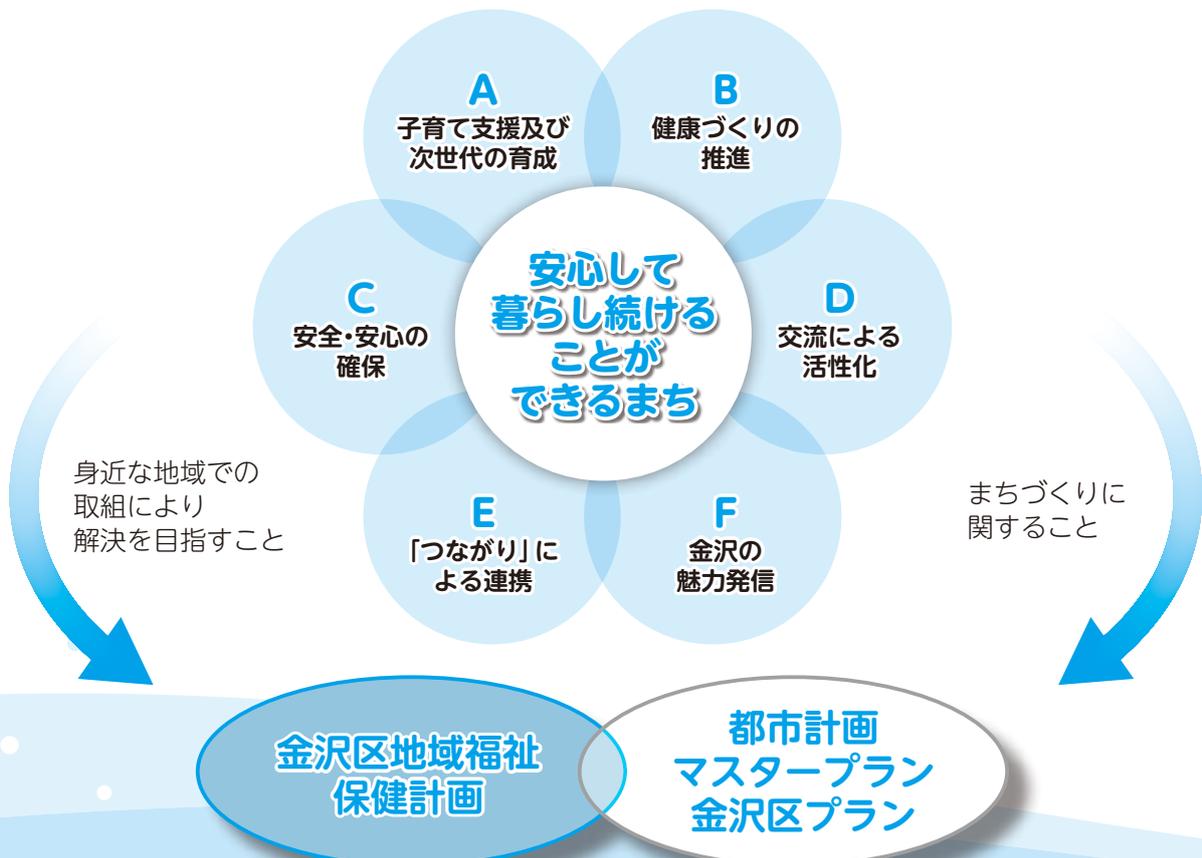
この基本目標の実現に向けて、AからFまで6項目の視点を踏まえて、「身近な地域での取組により解決を目指すこと」については地域福祉保健計画、「まちづくりに関すること」については、都市計画マスタープラン金沢区プランに反映します。

金沢区では、中長期的な観点で2つの計画を連動させたまちづくりを進めていきます。

金沢区基本目標

「環境未来都市 金沢を目指して」

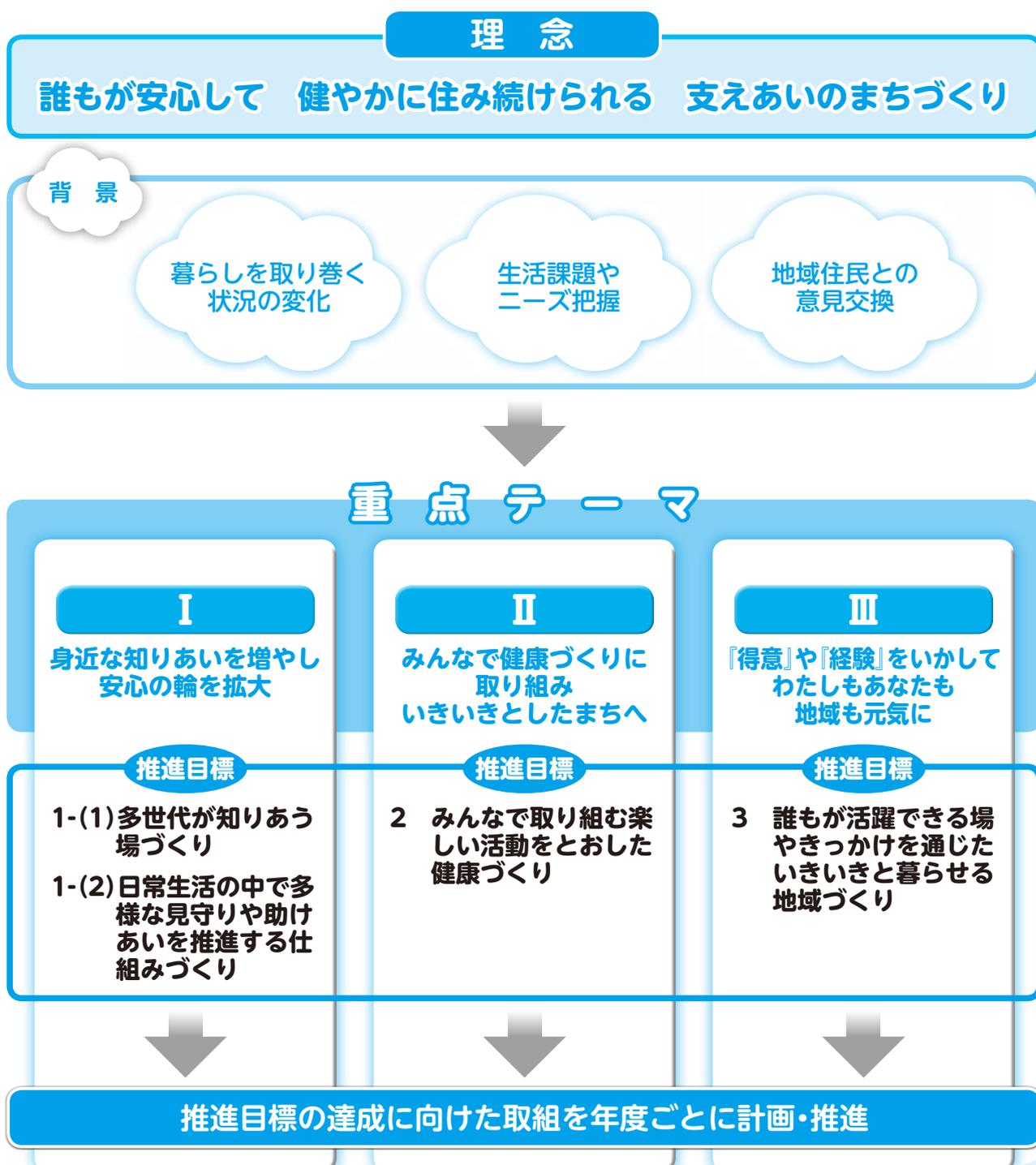
目標実現に向けた視点



2 第3期金沢区地域福祉保健計画の構成

第3期金沢区地域福祉保健計画の理念は、第2期計画の理念「安心して暮らせる支えあいのまちづくり」を継承しつつ、誰もが住み慣れた地域で健やかに住み続けられるまちづくりを目指すという意味を含めたものとなりました。

さらに、暮らしや地域に関する意識調査の結果や社会状況の変化及び地区推進連絡会(第5章4 用語解説参照)での意見等を踏まえて課題の把握・整理を行い、重点テーマと推進目標を設定しました。区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの3者は、相互に連携しながら推進目標の実現に向けた取組を進めていきます。



3 重点テーマと推進目標

重点テーマ

I

身近な知りあいを増やし 安心の輪を拡大

「困った時にとり近所に相談したり助けあっている人」が少なくなっていますが、いざという時に助けあうためには日頃から身近な知りあいを増やすことができる場に参加するなど、顔の見える関係を築いていることが大切です。

また、高齢化の急速な進展や家族形態の変化、近隣関係の希薄化などによって、孤立しがちな人が増えてくることが予測されます。そこで、住み慣れた地域で安心して生活をするためには、介護や医療などが切れ目なく提供される仕組みづくりとともに、身近な地域における多様な見守りや支えあいが不可欠です。

さらに、障害のある人や子育て中の人などに対する日常生活の中での温かい声かけや気配りなどにより安心の輪を広げていくことも求められています。

背景① 支えあいの第一歩は身近な知りあいを増やすこと

隣近所とのつきあい方に関して、「困った時に相談したり助け合ったりする」という人が少なくなっています(図1)。一方で、災害時に地域で助けあうために日頃から「顔の見える関係づくり」が必要かとの問いに9割以上の方が必要と回答しています(図2)。

また、7割以上の方は、知人が困っているときには「自分が可能な範囲で手助けする」と回答しています(図3)。

図1 隣近所とのつきあい方

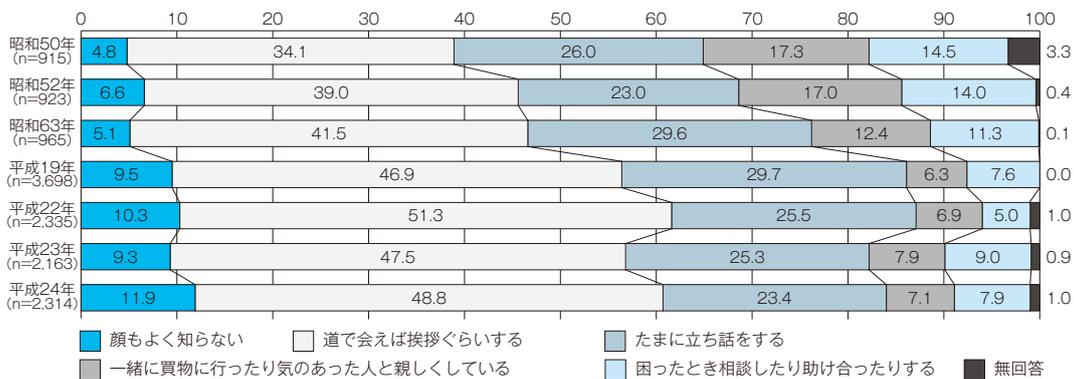


図2 災害時に地域で助けあうために日頃から顔の見える関係づくりが必要か

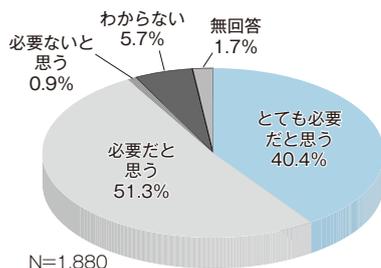
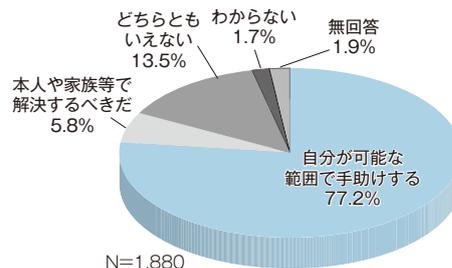


図3 知人が困っているとき



出典)平成26年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査(一般区民)

背景② 乳幼児の子育て中の孤立感

平成22年と26年の金沢区子育て実態調査の結果を比較すると子育てについて孤立を感じている人の割合に大きな変化はなく、約4人に1人が孤立を感じていました(図4)。

どんな時に孤立を感じるかという問いに対しては、家庭内では子どもと二人きり、家庭の外では母同士の集まりの中に入っていけない時が多いということが分かりました(図5)。

図4 孤立を感じることもあるか

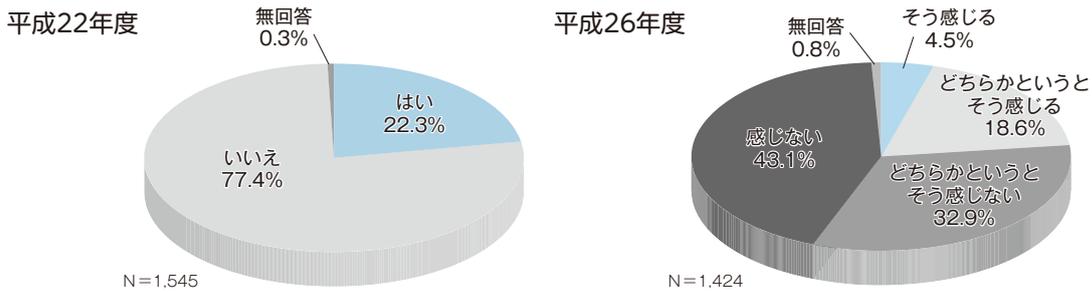
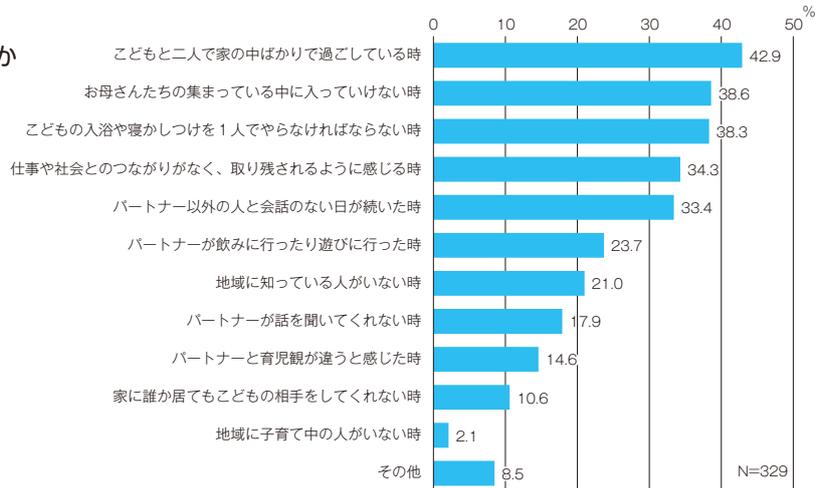


図5 どんな時に孤立を感じるか



出典)平成26年度金沢区子育て実態調査

背景③ 「地域のつながり」に関する地区推進連絡会での主な意見(抜粋)

【課題】

- マンションでは、名前と顔が一致しないことがある
- 仲間づくりは様々進んでいるが、後から入りにくいという問題がある

【今後の方向】

- 「顔が見える関係」づくりには地域が時間をかけて、あいさつ・声かけなどをとおして地域と子どもたちとのつながりを持つことが大切
- 自治会とサークル、サークルどうしなどの交流を進める





背景④ 人口構成の変化と高齢化の急速な進行

金沢区には、平成27年3月末時点で202,797人が暮らしています。世帯数は90,900世帯、平均世帯規模は2.23人/世帯です(表1)。

高齢化率(全人口に占める65歳以上の人の割合)は26.4%となっており、今後も高齢化が進んでいくことが見込まれています。

表1 人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	実数			増減		平成27年 比率	平成27年 市平均
	平成17年	平成22年	平成27年	17~22年	22~27年		
人口 (人)	209,966	209,560	202,797	▲406	▲6,763	100.0%	100.0%
0~14歳人口 (人)	27,769	27,180	24,684	▲589	▲2,496	12.2%	12.9%
(内0~5歳) (人)	(10,680)	(10,211)	(8,956)	(▲469)	(▲1,255)	(4.4%)	(5.0%)
15~64歳人口 (人)	145,284	137,283	124,538	▲8,001	▲12,745	61.4%	64.2%
(内25~39歳) (人)	(46,562)	(42,612)	(33,948)	(▲3,950)	(▲8,664)	(16.7%)	(19.3%)
65歳以上人口 (人)	36,913	45,097	53,575	8,184	8,478	26.4%	22.8%
(内75歳以上) (人)	(15,450)	(19,876)	(24,228)	(4,426)	(4,352)	(11.9%)	(10.5%)
世帯数 (世帯)	86,310	90,330	90,900	4,020	570		
平均世帯規模 (人/世帯)	2.43	2.32	2.23				2.15

出典) 横浜市統計ポータルサイト「町別世帯と人口」「町別男女別年齢別人口」による(各年3月末現在の住民基本台帳記載人口)

背景⑤ 高齢者単身世帯数と要介護認定者数の増加

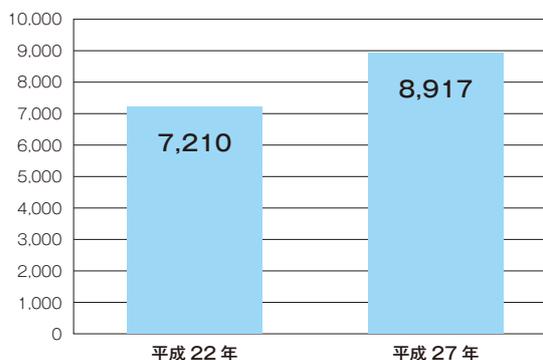
高齢化の進行や家族形態の変化に伴い、地域において高齢者が単身で暮らしている世帯数や要介護状態にある人の数が大きく増加しています(図6・7)。また、厚生労働省の調査によると、65歳以上の高齢者の15%に認知症が発症するというデータもあります。こうした中で、在宅医療の提供や介護との一層の連携を進めることなどにより、できる限り住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを実現できる社会の仕組みを構築していく必要があります。

図6 高齢者単身世帯数(金沢区内)



出典) 平成17年度及び平成22年度国勢調査

図7 要介護認定者数(金沢区内)



出典) 横浜市ホームページ「介護保険実施状況」
(数値はいずれも3月末現在)

背景⑥ 地域包括ケアシステムの構築

平成37年(2025年)には「団塊の世代」が75歳以上になり、家族形態の変化とあわせて、高齢者の単身世帯や高齢夫婦のみの世帯の増加が見込まれています。さらに近隣関係の希薄化により、困ったときに身近に相談できる人がいないなど、社会的に孤立しがちな人が増えてくることが予測されます。

こうしたことから、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくことを支えるために、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築に早急に取り組むことが不可欠です。

さらに、市民一人ひとりが健康づくりや介護予防に取り組み、地域活動や社会参加を通じて健康を維持し健康寿命(P.18参照)を延ばすことも求められています。



出典) 第6期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

背景⑦ 障害の有無に関わらず住み慣れた地域で暮らし続けるために

金沢区で暮らしている障害者を対象とした調査では、79%が金沢区に「住み続けたい」「できれば住み続けたい」という回答でした(図8)。

障害児・者とその家族からの意見の中には、『「障害」の個別性を理解してほしい』『どんな支援が必要かは深く関わらないと分からないと思う』という意見がある一方で、「困った時に、『大丈夫ですか』という一声があると、気にしてもらえてありがたいと感じる」「外出をするのにサポートをしてくれる人がいると助かる」という意見がありました。

特に災害時に地域で助けあうために、日頃から顔の見える関係づくりの必要性について、95%の人が「とても必要だと思う」または「必要だと思う」と回答しています(図9)。

図8 金沢区への定住意向(障害当事者団体)

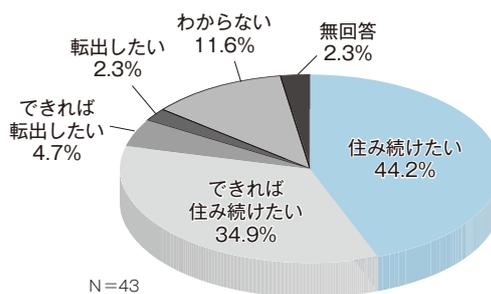
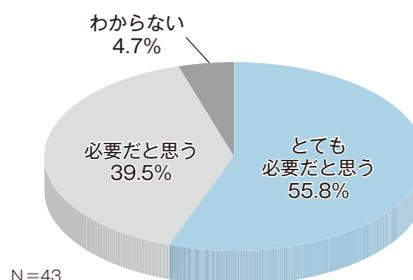


図9 災害時に地域で助けあうために日頃から顔の見える関係づくりが必要か(障害当事者団体)



出典) 平成26年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査(障害当事者団体)



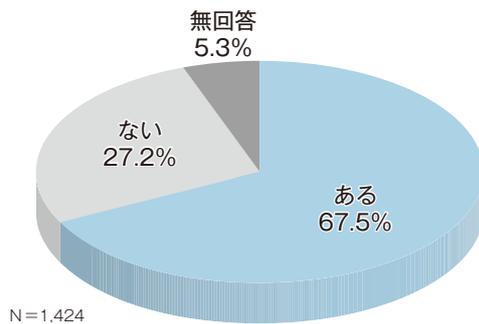
背景⑧

温かいまなざしの見守り・支えあいで安心して子育てできる地域づくり

子育て中の養育者を対象とした調査では、多くの養育者は、近所や通りすがりの人との挨拶や子どもへの声かけがうれしいと感じていることが分かりました(図10)。

また、うれしかった声かけとして「いつもの何気ないあいさつや笑顔がうれしい」「『かわいい』、『がんばっているね』などの声かけ」などが挙げられており、養育者も地域との関わりを望んでいることが分かりました。

図10 近所や通りすがりの人の声で助かったことやうれしかったことの有無



出典)平成26年度金沢区子育て実態調査

【養育者の主な回答(一部抜粋)】

- 「今は大変だけど、一番かわいいときだから頑張ってるね」などの声かけ
- 「手伝ってほしいことがあったら言ってね」などの気遣いの言葉
- 子どもがよく泣いて申し訳ないときに「子どもは泣くのが仕事だからがまんさせないであげて、気にしないで」と言ってくれたとき
- 子どもの名前を覚えてくれて、声をかけてくれるとき



目指す姿と取組の方向性

特定の世代や専門分野に限らず、となり近所や趣味のつながり等をとおして交流のある地域を目指し、こどもから大人、高齢者まで多世代が知りあうことのできる事業や、地域の団体、関係機関と連携した取組を推進し、地域資源を共有しながら、交流の機会を創出します。

また、地域で行う新たな「つながり」づくりの取組を支援します。

目標達成に向けた取組

①情報の周知

- 地域のイベント情報を収集・発信します。
- 必要な人に情報が届く効果的な広報を進めます。

②身近な地域で参加できる交流の機会と場づくり

- 共通の趣味や目的を通じて人と人が知りあえる場を増やします。
- 世代や文化を超えて楽しみながら参加できる交流の機会を増やします。

③地域の人材や資源の共有

- 活動者や団体どうしの連携を促進します。
- 身近な施設等の有効活用や、誰もが集える場づくりを進めます。



推進目標 1 - (1) に関連する取組や制度

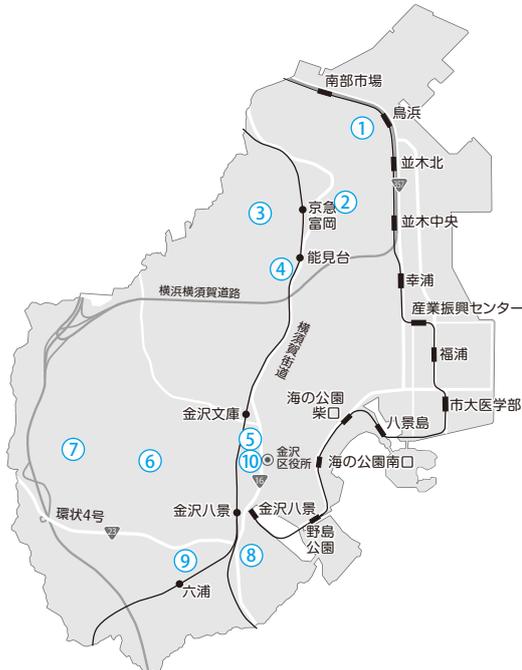
● 地域で参加できる交流の場

○ 地域ケアプラザ

福祉・保健の活動拠点として、未就園児の親子向けのひろばや体操教室、料理教室、障害のある子ども達を対象とした事業などを開催しています。また、福祉保健活動を目的とした団体向けに貸し出しできる部屋があります。

○ 福祉保健活動拠点

団体交流室、対面朗読室、録音室、点字製作室のほか地域ケアプラザとの共有スペースである多目的ホール・研修室、ボランティアコーナーがあり、区内で自主的に福祉保健活動を行っている団体等が利用できます。



親子で楽しめる
ひろばの開催



男の料理教室

番号	施設名	住所	電話	FAX
①	並木地域ケアプラザ	富岡東2-5-31	775-0707	775-0877
②	富岡東地域ケアプラザ	富岡東4-13-3	776-2030	770-5010
③	富岡地域ケアプラザ	富岡西7-16-1	771-2301	771-2360
④	能見台地域ケアプラザ	能見台東2-1	787-0991	787-0993
⑤	泥亀地域ケアプラザ	泥亀1-21-5	782-2940	782-2959
⑥	釜利谷地域ケアプラザ	釜利谷南 2-8-1	788-2901	788-2906
⑦	西金沢地域ケアプラザ	釜利谷南 3-22-3	788-2228	780-3080
⑧	柳町地域ケアプラザ	柳町1-4	790-5225	790-5227
⑨	六浦地域ケアプラザ	六浦5-20-2	786-8801	786-8802
⑩	金沢区福祉保健活動拠点	泥亀1-21-5	788-6080	784-9011

○ 保育園を活用した育児支援 区役所・保育園

地域の親子の交流や、在園児との交流の場として開放しています。また、育児相談などの支援に加えて、「赤ちゃんの駅」として授乳やおむつ替えの場を提供しています。



● 地域活動の情報発信 区役所

「金沢区民活動センター“ゆめかもん”」では、市民活動に関する相談・コーディネートや情報提供をするとともに、活動場所の提供や機材の貸出、講座や交流イベントの開催等により区民の活動を支援しています。

また、「さくら茶屋にししば」と「コミュニティサロン『ほっこり』」は「つながりステーション」として、これまで築いてきたつながりや蓄積してきたノウハウを活かした、より身近な活動支援拠点となっています。

名 称	住 所	電 話
金沢区民活動センター“ゆめかもん”	泥亀2-9-1	788-7803
さくら茶屋にししば	西柴3-17-6	516-8560
コミュニティサロン『ほっこり』	東朝比奈2-2-32	786-3736

● 活動への支援 区役所・区社会福祉協議会

金沢区では、幅広い区民の主体的な活動や身近な地域の場づくりを支援できるよう、各種制度を運用しています。

名 称	内 容	お問合せ先
地域ネットワーク支援事業補助金	地域課題の解決に向け、地域の団体が連携して取り組む事業に対し、支援をします	地域振興課 電話 788-7809
空き家等を活用した地域の「茶の間」支援事業	空き家や空き店舗等を活用し、多世代交流、子育て支援、高齢者の生活支援などの取組を支援します	
金沢区市民活動サポート補助金	区内で市民公益活動を行う市民活動団体を支援し、その成長と自立を図ります	地域振興課 電話 788-7806
安心子育て・育児サークル支援事業	金沢区内で活動する養育者による育児サークルを支援します	こども家庭支援課 電話 788-7785
金沢区福祉保健活動促進補助金	金沢区地域福祉保健計画を推進する活動団体を支援します	福祉保健課 電話 788-7824
いきいき金沢助成金	区民の自発性のもと、金沢区内で行われるボランティア活動、非営利な地域福祉・障害福祉を推進する事業を支援します	金沢区 社会福祉協議会 電話 788-6080

この他、市内全域を対象とした制度等については、「支援制度ガイドブック」でも紹介しています。

横浜市支援制度ガイドブック 検索



推進目標

1 - (2)

日常生活の中での多様な見守りや 助けあいを推進する仕組みづくり

目指す姿と取組の方向性

安心して子どもを育てることができ、介護が必要になっても障害のある人でも安心して暮らせる地域を目指し、地域全体で子どもを育む風土を醸成します。

また、各種事業や様々なネットワークから認知症の人や障害のある人など見守りが必要な人を発見し、身近な地域の中で助けあえる仕組みをつくとともに、お互いに困っていることに気がつけるよう啓発活動を行います。

また、災害発生時を念頭においた対策や、孤立しがちな人への対応及び医療的ケアが必要になっても安心して在宅生活を継続できるような取組を進めていきます。



ガイドボランティアによる
通学支援

目標達成に向けた取組

①理解・啓発活動の推進

- 障害のある人や認知症の人などの課題や、外国につながる人で言葉や生活習慣の違いなどからくる課題について理解を進める啓発活動を推進します。
- 研修会等（認知症サポーター養成講座、ガイドボランティア養成講座など）をとおして、具体的な見守り方法についての知識と理解を広げます。

②見守りの輪を拡大

- 親子が集える場をとおして、養育者の育児不安の軽減を図ります。
- 認知症サポーター、はいかい高齢者SOSネットワーク等の活動をとおして、認知症の人とその家族の生活を支援します。
- 障害児・者の登下校や通所時の見守り、スポーツ等による交流をとおして、顔の見える関係づくりを推進します。
- 大きな災害に備えた地域の助けあいの取組を支援します。
- 子どもの見守りや防犯活動への支援をとおして、犯罪のない明るい社会づくりに取り組みます。

③相談機能の充実と支えあいネットワークの構築

- サロンを実施している団体や関係機関との意見交換の場を設けます。
- 支援を必要としている人が孤立しないように、相談につながる体制と関係機関のネットワークを強化します。
- ネットワークで把握した課題の解決に向けて関係機関で協働して取り組みます。

推進目標 1 - (2) に関連する取組や制度

● 支援が必要な人への理解

○福祉教育の推進 **区社会福祉協議会**

誰でも安心して住み慣れた地域で生活が続けられるように地域・学校・企業等を対象とした福祉教育を進めています。福祉教育のプログラムとして、認知症や障害等に関する理解と協力の輪を広げることを目的とした各種講座の開催を支援しています。

○認知症サポーター養成講座 **区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ**

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲でそっと手助けする応援者です。講師役の「認知症キャラバン・メイト」が開催する「認知症サポーター養成講座」を受講することでサポーターになることができます。金沢区では、約9,200人(平成27年11月時点)のサポーターがいます。引き続き、こどもから高齢者まで様々な機会を通じて、認知症サポーターの養成を進めていきます。

○金沢国際交流ラウンジ **区役所**

外国につながる人との共生を図ることを目的として、①情報提供・相談対応、②日本語学習支援、③多文化共生・国際交流・地域理解を推進するためのイベントなどを行っています。

● 子育て中の養育者をサポート

○こんにちは赤ちゃん訪問 **区役所**

生後4か月までの赤ちゃんのいるすべての家庭を、民生委員児童委員、主任児童委員等の地域の訪問員が訪問し、玄関先などで出産後に利用できるサービスや地域の子育て情報などをお届けします。

○子育てサポートシステム **金沢区地域子育て支援拠点 とことこ**

子どもを預かってほしい人(利用会員)と子どもを預かる人(提供会員)に会員登録をしていただき、条件の合う近隣の方との出会いをサポートする有償の支えあい活動です。

○メールマガジン「キラキラかなざわっこメール」 **金沢区地域子育て支援拠点 とことこ**

区内のイベントやお出かけ情報等の子育て情報をメールでお届けします。

登録用メールアドレス kira@baykids.jp

(空メールを送信)



推進目標 1 – (2) に関連する取組や制度

○「かなざわ育なび. net」 区役所

乳幼児健診や保育園・幼稚園の一時保育、赤ちゃんの駅、お出かけスポット、イベント等の金沢区の子育てに関する情報を集約して、居住地やお子さんの年齢に応じて提供するポータルサイトです。



パソコン: URL: <http://kirakana.city.yokohama.lg.jp/>

スマートフォンアプリ: Android版



iOS版



● 福祉保健に関する相談場所

地域ケアプラザ	地域の身近な相談窓口として、こどもから高齢者、障害児・者の福祉・保健の相談を受けて、内容に応じて必要な情報提供や支援につながります。	連絡先については、 P.11参照	
金沢区地域 子育て支援拠点 とことこ	子育て中の親子の交流の場、子育てに関する悩みや心配事があれば、気軽にスタッフに相談できる場です。	能見台東 5-6	電話 780-3205 FAX 780-3206
金沢区基幹相談 支援センター (金沢地域活動ホーム りんごの森)	地域で生活する障害のある人や家族の生活を支えるための総合窓口として必要な情報提供や支援につながります。	能見台東 2-4 (1階)	電話 784-2709 FAX 784-2758
金沢区 生活支援センター 愛&あい	こころの病のある人や家族などが自分らしい生活を送れるよう、精神保健福祉の相談や日常生活のための場の提供を行っています。	泥亀 2-1-7	電話・FAX 701-4116

● 認知症、障害のある人への対応

○はいかい高齢者SOSネットワーク 区役所・地域ケアプラザ

認知症高齢者が徘徊で行方不明になった時に、区役所と警察、地域ケアプラザや公共交通機関等と一緒に、できるだけ早く発見・保護する仕組みです。

万が一に備えて、早期発見に必要な情報や写真を事前に登録することができます。

○障害者自立生活アシスタント事業

金沢地域活動ホームりんごの森・金沢区生活支援センター愛&あい

単身等で生活する障害者が地域生活を継続するために、専門的知識と経験を有する「自立生活アシスタント」が、具体的な生活の場面での助言やコミュニケーション支援を行います。

○横浜市障害者後見的支援制度

親亡き後も、障害者本人が願う地域での生活方法を一緒に考え、日常生活を見守ります。登録後、あんしんサポーターが定期的に訪問して話を聞き、将来の希望や漠然とした不安などの相談を受け一緒に考えます。

福祉制度だけではなく、身近な地域の人たちの協力を得ながら、地域全体で障害のある人を見守ります。

金沢区障害者後見的支援室 帆海(ほなみ)

住所:金沢区能見台通21-23 アイカビル1階

電話:788-2114 FAX:788-2160

● 地域における権利擁護の推進

区役所・区社会福祉協議会

認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加に伴い、本人に代わって介護サービスの利用契約などの後見活動を行う成年後見制度の必要性は一層高まっています。

横浜市では、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分な方の生活を支援する身近な存在として、市民が後見活動を担う「市民後見人」を養成しています。

● 生活困窮者自立支援制度

区役所

「仕事をやめて家賃が払えない」、「なかなか仕事が見つからない」、「借金や家計のやりくりで困っている」など、様々な経済的事情により生活にお困りの方の相談に応じ、どのような解決方法があるのかを一緒に考え、きめ細やかな支援により、サポートを行います。

一人ひとりのお困りの状況を整理し、解決に向けた目標を立て、専門の相談員による家計相談や、ハローワークと連携した就労支援などを通じて、生活の立て直しのアドバイスを行います。

● 生活福祉資金貸付制度

区社会福祉協議会

失業などにより日常生活全般に困難を抱えた世帯の生活の立て直しのために、生活費及び、緊急・一時的に必要な経費、修学に必要な経費などの貸付事業を行っています。区役所で実施している生活困窮者自立支援制度の窓口とも連携を図ることで継続的な相談支援を行います。

● 食の支援

区社会福祉協議会

経済的理由から緊急に食品が必要な方が、安定した生活や自立した生活に戻るための一助として食料支援団体(セカンドハーベスト・ジャパン)との協働により食料支援が始まっています。支援食料は、食品メーカー等からの協力により賞味期限が近い・規格外・余剰農作物等十分に食べられる食品です。今後は、ご家庭で余剰となっている食品を持ち寄り、生活に困っている人にお渡しするフードドライブ〈food(食品)drive(運動)〉へと取組を広げていきます。

推進目標 1 – (2) に関連する取組や制度

● 金沢区移動情報センター

区社会福祉協議会

移動に支援が必要な障害のある人及びそのご家族からの相談を受ける窓口です。外出の目的や行先など、ニーズに沿った情報の提供と支援、外出に関するボランティアの育成等、ボランティア全般のコーディネートを担当するボランティアセンターと協働して行っています。

● 身近な地域のつながりによる支えあいの推進

区社会福祉協議会

「支援する人」「支援される人」の区別なく、誰もが住み慣れた地域で孤立せずに居場所や役割を持って暮らし続けられる地域づくりを進めるため、地域の皆さんと地域の特徴や課題について共有し、必要な取組を考える研修会(住民支え合いマップ研修、地域福祉活動推進者養成研修等)を開催します。研修会で把握・共有した地域課題の解決に向けた取組の支援を行います。

● 住み慣れた地域でいつまでも生活するために

○ 地域ケア会議 区役所・地域ケアプラザ

保健・医療・福祉の専門職や地域の支援者等で構成される会議です。多職種協働や個別事例の検討を通じ、①個別課題解決、②ネットワーク構築、③地域課題発見、④地域づくり・資源開発、⑤政策形成の5つの機能を有しています。

地域包括支援センターが行う地域レベルの会議で、個別ケースの支援内容を通じた地域課題の解決に向けた協議をし、さらにそこから抽出された共通課題等を区及び市レベルの会議で協議します。これらの重層的な構成により、高齢者支援の充実とそれを支える地域づくり・資源開発や政策形成につなげていきます。

○ 金沢区地域自立支援協議会 区役所・金沢地域活動ホームりんごの森

区内の医療・福祉関係者、障害当事者団体の代表者及び家族、学校関係者などで構成される会議です。

障害児・者及びその家族が地域で自立した生活を送ることができる社会の実現を目指して、関係機関どうしの情報交換や支援策の検討を行っています。

○ 災害ボランティアセンター設置準備 区社会福祉協議会

区役所・区社会福祉協議会・災害ボランティアネットワークの3者で締結した「災害ボランティアセンターの設置・運営に係る協定」に基づき、災害時にボランティアセンターの運営ができるよう準備を進めます。また、地域に災害ボランティアセンター機能や場所を周知するとともに、発災時に災害ボランティアセンターでボランティアコーディネートを行う人材を育成していきます。

多くの人が毎日を健康に過ごしたいと望んでいます。病気の予防や重症化を防ぎ、いつまでも自分らしい生活を送るためには、自分の身体の状態を知り、状況に応じて生活習慣を改善していくことが重要と言われています。

また、運動や食事などの生活習慣の改善に加えて、地域との交流や様々な活動への参加など「つながり」をつくるのが心身の健康に効果があることも分かってきました。

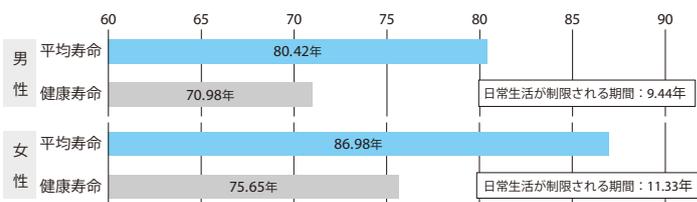
そこで、地域ぐるみで健康づくりに取り組むことでいきいきとしたまちを目指します。

背景① 目指せ 健康寿命日本一

平均寿命とは「生まれてから亡くなるまでの期間」、健康寿命とは「平均寿命のうち健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことを言いますが、平均寿命と健康寿命の間には約10年の差があります(図11)。

いつまでもいきいきと自分らしい生活を続けるためには健康寿命の延伸は欠かせない要素であり、乳幼児期から高齢期まで継続して生活習慣の改善を行うことが重要です。

図11 横浜市の平均寿命と健康寿命



生活習慣の見直しで
健康寿命を伸ばそう

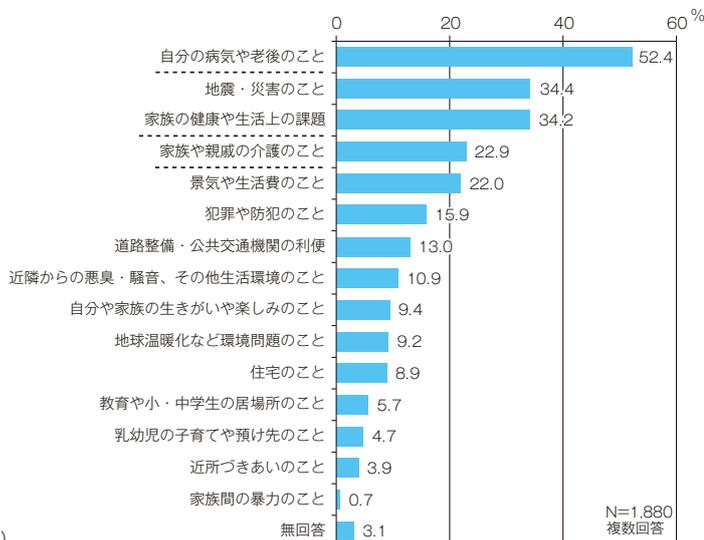


出典) 第2期健康横浜21 (平成22年国民生活基礎調査(横浜市分)を基礎データとして算出)

背景② 生活習慣の改善への意識向上

一般区民を対象とした調査では、暮らしの中で、最近気になっていることや困っていることの上に「自分の病気や老後のこと」「家族の健康や生活上の課題」が挙げられました(図12)。

図12 暮らしの中で、最近気になっていることや困っていること



出典) 平成26年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査(一般区民)

次ページへ

しかし、健康に関する市民意識調査では自分自身の生活習慣について「改善が必要だと思う」と回答した人が全体の74.7%であるのに対し、このうち「既に改善に取り組んでいる」人は全体の26.5%に留まりました。また、若い世代ほど「改善が必要だと思わない」「関心がない」と回答する人の割合が高い傾向にありました(図13・14)。

図13 自分自身の生活習慣の改善について

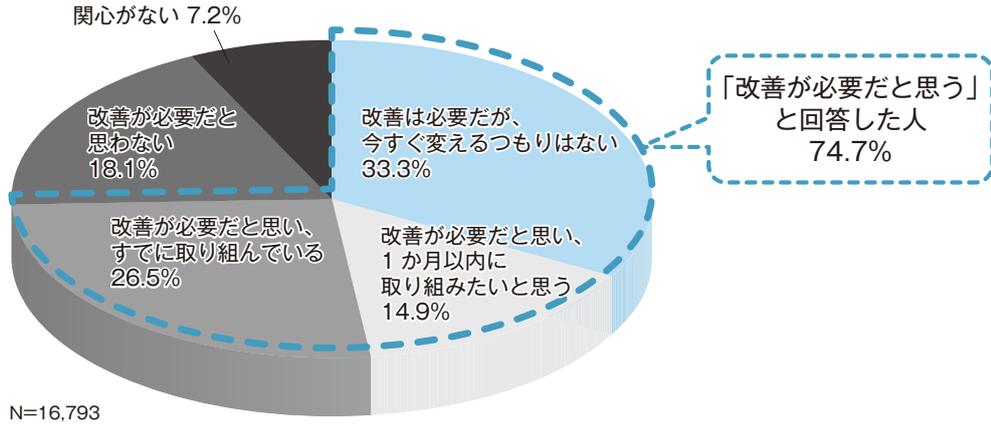
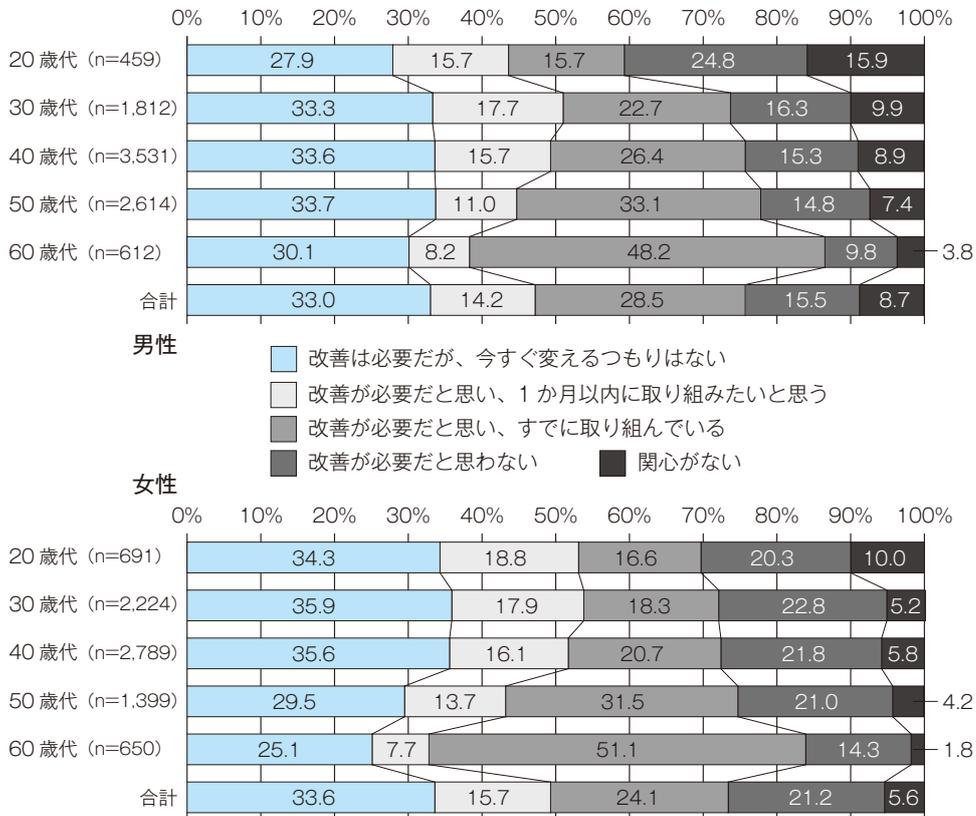


図14 自分自身の生活習慣の改善について(男女別・年代別)



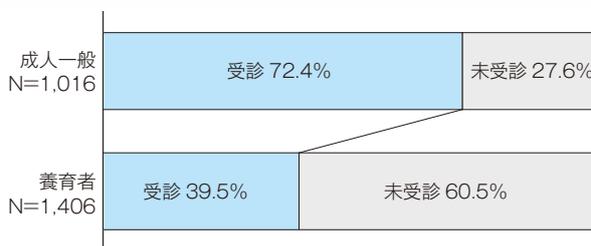
出典)平成25年度 健康に関する市民意識調査(横浜市健康福祉局)

背景③ 健康診断受診率の向上

一般の市民を対象とした調査では20歳から69歳の方のうち過去1年間に健康診断を受診した人は72.4%でしたが、金沢区の養育者を対象とした調査では、0歳から2歳の子を持つ養育者の受診率は39.5%でした(図15)。

出典)平成25年度 健康に関する市民意識調査(横浜市健康福祉局)
平成26年度 金沢区子育て実態調査 より作成

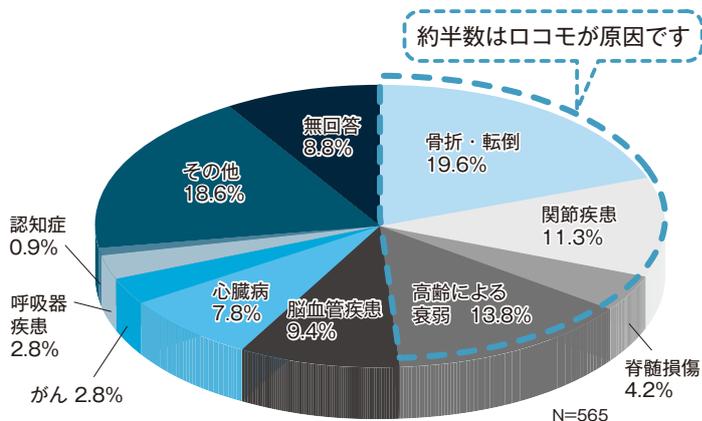
図15 過去1年間の健康診断受診状況



背景④ 介護予防の推進

介護(要支援)が必要になった理由の約半数は「ロコモティブシンドローム(運動器症候群、通称:ロコモ)」です(図16)。ロコモとは、加齢や病気などにより移動能力が低下した状態を言いますが、足腰を鍛える運動や体操の継続、バランスのとれた食事等の日々の生活の改善により予防することができます。

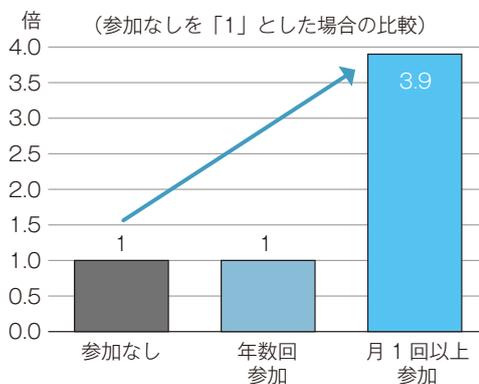
図16 介護(要支援)が必要になった理由



出典)平成25年度横浜市高齢者実態調査(横浜市健康福祉局)

また、運動やバランスのとれた食事などに加えて、地域との交流や様々な活動への参加など積極的に「つながり」をつくるのが心身の健康に効果があることも分かってきました(図17)。

図17 高齢者の社会活動等への参加による4年後の生活機能維持に関する調査



出典)東京都健康長寿医療センター研究所
「つながりde健康づくり」リーフレット
(横浜市健康福祉局)から引用

月1回以上社会活動に参加していると、元気な暮らしを続けられる人が4倍近くにもなるんだね!





推進目標

2

みんなで取り組む楽しい活動をととした健康づくり

目指す姿と取組の方向性

地域とのつながりの中で健康的な生活を送る人が増えることで、一人ひとりがいつまでも自分らしく健やかに暮らせる地域を目指します。そのために、身近な地域の資源をいかしたウォーキングや健康講座、スポーツイベント、趣味、地域貢献等の様々な活動を通じた健康づくりを促進していきます。

また、子育て中の人や働いている人でも気軽にイベントや活動に参加できるよう情報を発信し、関係機関や団体、民間企業と連携して健康づくりを推進します。特に、介護予防や認知症予防の取組を重点的に進め、健康寿命の延伸を目指します。



目標達成に向けた取組

①情報発信・啓発

- 自身の健康を振り返り、関心を高められるような啓発活動を推進します。
- 関係機関や企業等とも連携し、主体的に健康につながる行動を起こすことができるよう情報を発信します。

②活動の機会等の促進

- こどもから大人、高齢者まで多世代が参加できるウォーキングなどの健康づくりイベントを開催します。
- 身近な場所で、仲間と一緒に主体的に健康づくりに取り組む機会を拡充します。
- 多様な主体の参画により、地域の支えあいの中での介護予防の取組を推進します。

③健康づくり活動を支える環境整備

- 健康づくり活動を地域で実践する人材を育成、支援します。
- 健康を増進するために関係機関等の連携を促進し、ソフト面・ハード面に関する環境づくりを進めます。



推進目標2に関連する取組や制度

● ウォーキングを中心とした健康づくりの取組み

区役所

ウォーキングは身近な場所で気軽に取り組むことのできる運動です。区内の企業・大学・健康づくりの推進団体等と協働して、金沢区の歴史・自然を楽しみながらウォーキングを行うイベントを開催しています。その他、ウォーキングのスキルアップ講座の開催、区内のつながりステーションでのウォーキングについての情報を発信するほか、公園を活用した健康づくりとして、案内板の設置や路面へのコース・距離標示などの環境整備を行っています。



健康ウォーキングの様子



距離表示のイメージ

● 金沢区保健活動推進員の活動

区役所

保健活動推進員は、区役所と協力しながら、地域に暮らす人の健康づくりを応援しています。健康づくり活動(健康チェック・体力測定会、ロコモ予防の教室やウォーキングなど)の企画と実施、健診受診の啓発などに取組んでいます。

また、介護予防、高齢者支援、子育て支援など、区内14地区それぞれ地域の実情に合わせた活動を行い、地域の健康づくりを推進しています。



いきいきフェスタでのロコモ度チェック

● 金沢区食生活等改善推進員(愛称:ヘルスマイト)の活動

区役所

こどもから高齢者を対象にした食育や食の安全等をテーマにしたボランティア活動(健康講座、料理教室など)を行っています。小学生を対象に「朝食を食べる」ことをテーマとした講座と調理実習、男性を対象に「食の自立」をテーマとした料理教室などを開催しています。

またウォーキングの活動では、月1回自然散策や名所旧跡巡りなどを行い、楽しみながら健康づくりを進めています。



ヘルスマイトの活動

● 元気づくりステーション

区役所・地域ケアプラザ

高齢者が、地域の中でつながりながら、健康で生きがいのある活動的な生活を送ることができるよう、歩いて行ける身近な場所で主体的・継続的に健康づくりや介護予防に取り組むグループ活動です。金沢区には12か所(平成27年12月時点)あり、体操・ウォーキング・認知症予防ゲームなどの様々な活動を行っています。



元気づくりステーション

● ボランティアから健康づくり

区社会福祉協議会・地域ケアプラザ

地域との「つながり」は心身の健康にも効果があると言われています。ボランティア活動も地域とつながる第一歩となります。これまでの経験・専門性をいかした活動、空いている時間を有効にいかせる活動、仲間づくりにつながる活動、人との会話や身体を動かす活動など、活動の内容は様々です。



重点テーマ III

『得意』や『経験』をいかして わたしもあなたも地域も元気に

地域で活動している人の悩みや困りごとに、メンバーの高齢化や担い手不足が挙げられます。しかし、障害のある人も含めて、今後担い手として活動に参加したいと考えている人や、何らかの形で社会貢献したいと考えている人が多くいることが分かっています。

また、活動に参加するためには「参加しやすい雰囲気」や「きっかけの提供」などが必要という意見が多く聞かれます。

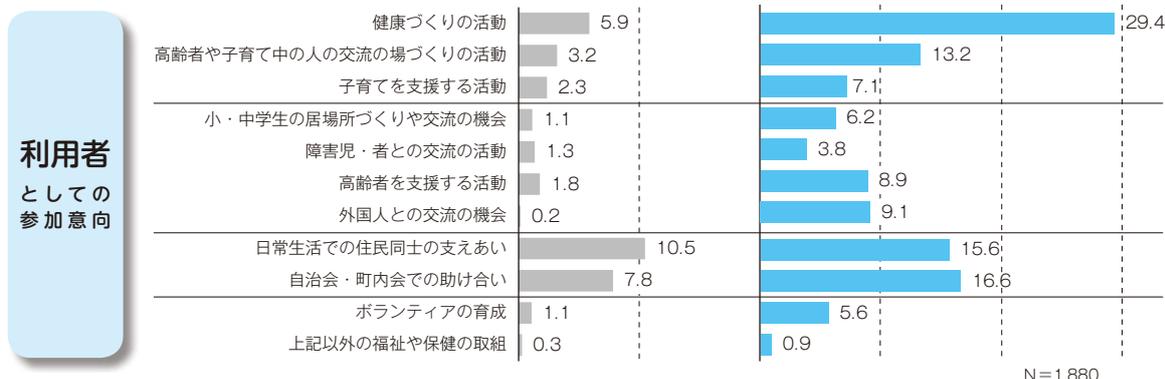
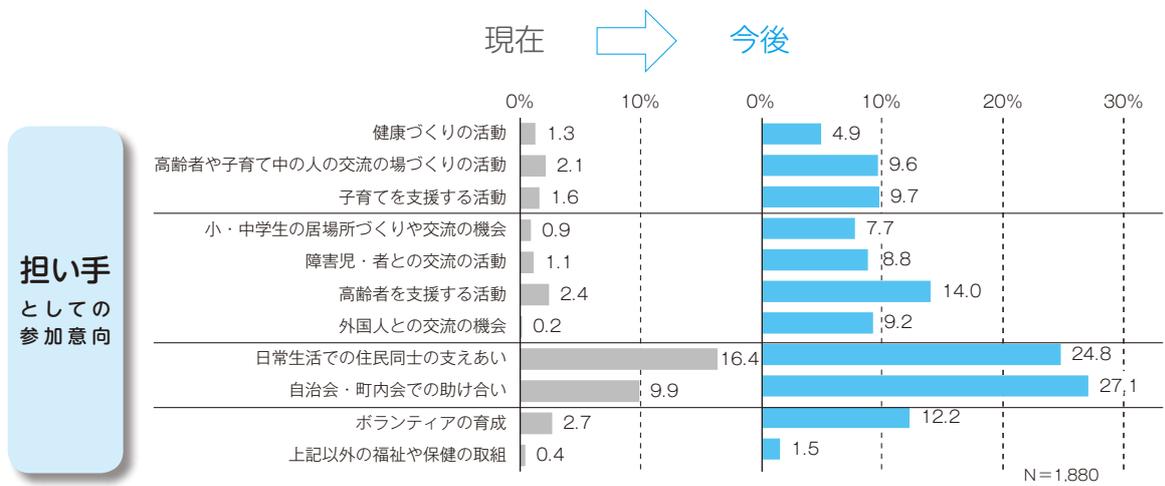
そこで、年齢やライフステージに関わらず、誰もができることに取り組んで活躍できるようにすることで活性化された地域を目指します。

背景① 地域活動への参加意向がある人をつないで、担い手不足の解消を

福祉保健に関する活動を行ったり、支援したりしている団体を対象とした調査では、「活動を進めていく上での悩みや困りごと」について「メンバーの高齢化」「担い手不足」という回答が7割を上回りました。

一方、一般区民を対象とした調査では、現在活動に参加している人の割合に対して、今後参加したいと思っている人の割合が高いことが分かりました(図18)。

図18 地域の福祉や保健の取組への参加状況と今後の参加意向



出典)平成26年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査

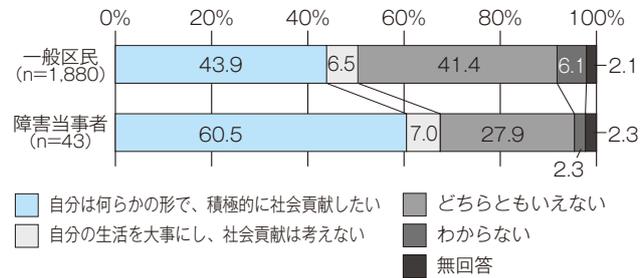
背景② 誰もが気軽に楽しく活動し、やりがいのある生活を

一般区民及び障害児・者とその家族を対象とした調査では、一般区民の約4割、障害当事者の約6割が「何らかの形で、積極的に社会貢献したい」と回答しました(図19)。

また平成26年度金沢区子育て実態調査からも、「趣味があり続けている人」は続けていない人と比べて育児が楽しくできているという結果が出ており、趣味を通じて活動することが育児を楽しむひとつの要素になっています(図20)。

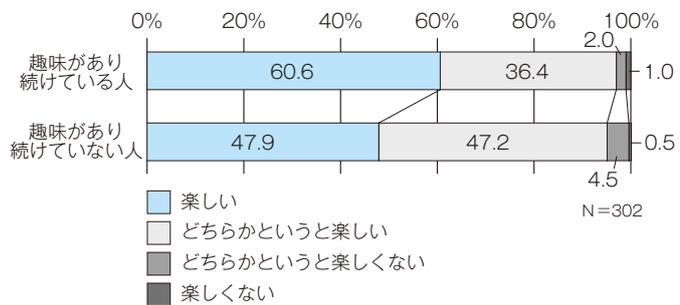


図19 社会貢献について



出典)平成26年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査

図20 趣味の継続と育児の楽しさについて



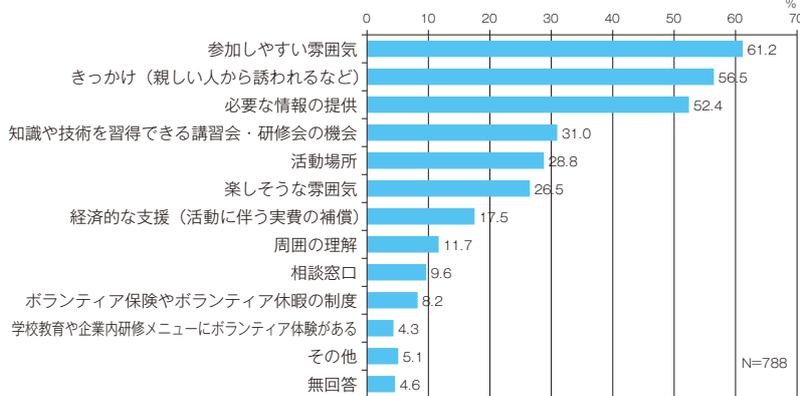
出典)平成26年度金沢区子育て実態調査

背景③ 活動参加へのきっかけ・雰囲気づくり

一般区民を対象とした調査では「今後、担い手として参加するために必要なこと」として、「参加しやすい雰囲気」「きっかけ(親しい人から誘われるなど)」「必要な情報の提供」と回答した人が半数を上回っています(図21)。

また、地区推進連絡会でも地域活動の参加について「きっかけの提供が必要」「知りあいから声をかけてもらった方が良い」などの意見が出ています。

図21 担い手として参加するために必要なこと



出典)平成26年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査

【地区推進連絡会での 主な意見(抜粋)】

- きっかけの提供が必要
- 年齢問わず共有できる場所(夏祭りなど)と参加しやすい雰囲気づくりが必要
- 知りあいから声をかけてもらった方が良い
- 若いお母さんたちを巻き込んで活動していきたい



推進目標

3

誰もが活躍できる場やきっかけを通じた いきいきと暮らせる地域づくり

目指す姿と取組の方向性

多くの住民が地域活動やイベントへの参加を通じて社会とのつながりを感じ、それぞれの人ができることに取り組んで活躍することで活性化された地域を目指します。こどもの頃から多様な経験ができる機会を提供したり、自分の得意なことや経験をいかした活動に参加できるきっかけを増やすことで、年齢やライフステージ、障害の有無に関わらず活動できるよう支援します。

また、これにより地域活動の担い手となる人材の発掘、育成を行います。

目標達成に向けた取組

①啓発・きっかけづくり

- 趣味や得意なことをとおして、楽しみながら地域活動への参加につながるきっかけづくりを進めます。
- 福祉教育等をおしてボランティア活動への理解を深めるきっかけをつくります。

②活躍の場をコーディネート

- 地域の人を持っている力を引き出し、発揮できるような場や仕組みをつくります。
- 年齢やライフステージ、障害の有無に関わらず誰もが発言をしたり、活動できる場をつくります。
- 教育機関や企業、地域の関係機関と連携して幅広い活躍の場・仕組みづくりを進めます。

③活動への支援

- 育児サークルや健康づくりをはじめとして、様々な地域活動に取り組む団体等を支援します。
- 活動者を対象に交流会や研修会を開催し、参加者どうしが学びあい協力することで活動が活性化されるよう支援します。

少しずつでも
自分にできることから始めれば
いいんだね。



推進目標3に関連する取組や制度

● 金沢区地域づくり大学校

区役所・区社会福祉協議会

地域課題に取り組んでいる自治会町内会の事例見学や地域づくりの手順についての講座、グループワークをとおして、区民と区職員が学びあい、地域のさまざまな課題を協力しあいながら解決していく「自治の力」を身に付けることを目的に実施しています。



● ボランティアの発掘・育成

○ 地域デビュー応援講座 区役所

「活動に参加したいが、きっかけがない」と考えている区民にむけて、地域で行われている活動の体験や、仲間づくりをとおして、活動に参加するきっかけを作ることを目的とした講座を実施しています。



○ ボランティアセンター 区社会福祉協議会

ボランティア活動を行いたい人と手助けをして欲しい人をコーディネートし、地域の支えあい活動を支援します。ボランティアに関する各種講座(入門講座等)やボランティア活動に関する情報を発信・紹介するとともに、ボランティア活動者やグループを対象とした学びあいや情報交換の機会として交流会や研修会を開催しています。

○ 多文化共生推進事業[外国につながる子どもの日本語学習支援] 区役所

外国につながる子どものための日本語教室「かもめ教室」を運営します。支援活動に参加することで在住外国人との交流の機会となり、多文化共生に関するこれまでの経験と知識をいかせる場となっています。

● キラキラ金沢っ子ファミリーフェスタ

金沢区地域子育て支援拠点 とことこ

金沢区のママ達を中心に、企画運営から、出展まで行うイベント「キラキラ金沢っ子ファミリーフェスタ」を開催しています。

親子が育っていく過程において、養育者自身が元気で子育てを楽しむことが重要との認識にたち、子育て家庭を笑顔にしたいという想いから、得意なことや趣味をいかして、年に1回ステージ発表や製作体験、販売等を行っています。



推進目標3 に関連する取組や制度

● 地域におけるシニアパワー発揮推進事業

区役所・地域ケアプラザ

高齢者が、様々な地域活動に参加し、地域とのつながりを持つ中で健康を維持できるよう、従来の地域活動だけではない新たな「場」や「機会」を創出し、高齢者の健康維持増進・生活の自立促進を図る地域事業を実施しています。



● キャンパスタウン金沢推進事業[大学の活力を生かしたまちづくり]

区役所

関東学院大学及び横浜市立大学との連携を強化することで「大学の知恵」「大学生の行動力」「大学の充実した施設」を生かし、活力に満ちたまちづくりを進めます。

子育て・福祉等分野での連携として、「市立保育園における学生と園児との交流」、「地域ケアプラザ利用者と大学生との交流」、「横浜市立大学における障害者福祉施設の製品販売等」が行われています。さらに、大学生が行う地域活動等の事業への助成を行っています。



● 環境未来都市 横浜 ～かなざわ八携協定～

区役所

金沢区では、横浜グリーンバレー構想など温暖化対策を実践していますが、この取組に加え、少子高齢化の進む金沢区の地域活性化策を協力して実践するため、2014年度に鉄道事業者、企業、大学、商工業など八者による協定を締結しました。この協定を契機として、連携協力の輪を広げながら、豊かな自然を次世代に引き継ぐとともに、金沢のまちをさらに盛り上げ、その魅力を広く内外に発信していきます。



地区別計画で目指すこと

1 地域と地域支援チームによる協働

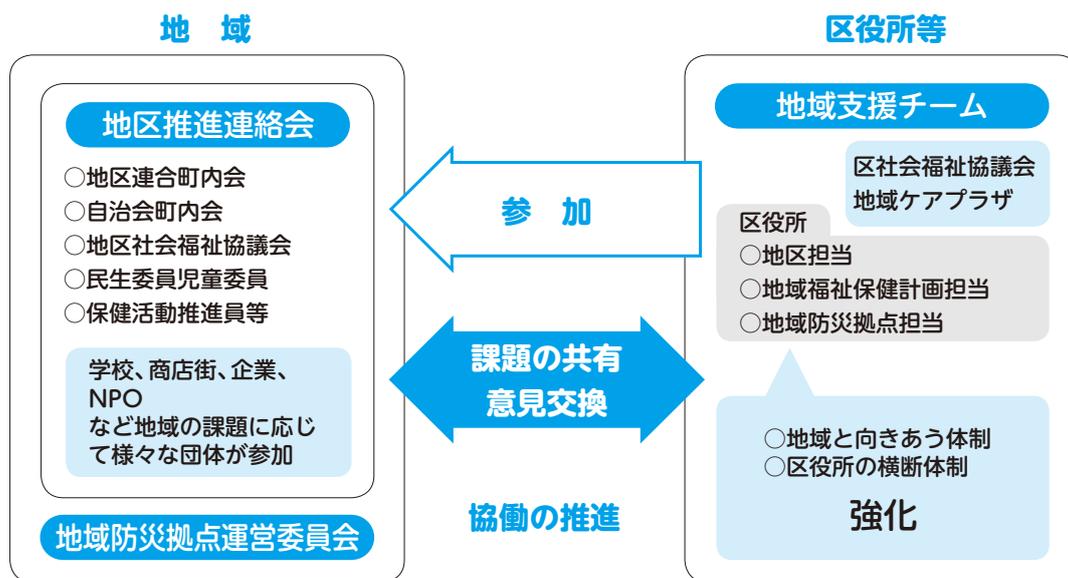
住みよい地域づくりを進めるためには、地域と行政がお互いの特徴をいかながら協働して取り組むことが必要です。

金沢区では、平成24年度より区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが一体となった「地域支援チーム」を編成し、分野の枠を超えて区役所全体で各地区と向き合う(寄り添う)体制づくりを進めています。

これまで地域に暮らす人と支援チームとの間で顔の見える関係を築きながら、防災訓練や災害時における要援護者の支援策などに取り組んできました。

さらに地区推進連絡会では、地域の様々な団体と地域支援チームが協働し、まちの将来像や課題の解決策について意見交換をしています。第3期「地区別計画」も、このような話しあいの中でまとめられてきました。

地域と区役所等との協働のイメージ



地区の目標 関連する区域計画の推進目標



次のページからは14地区の地区別計画を紹介します。地区の目標と関連する区域計画の推進目標を左の図のように表しています。

富岡第一 地区



キャッチフレーズ

みんなの顔が見える街

世代を超えて気軽に交流し合える地域づくり

推進目標 1-(1)

- ❖ 「お元気サロン」の開催
 - ・地区の誰でも参加できる交流の場
- ❖ 世代間交流イベントの開催
 - ・運動会・ふれあい夏祭り
 - ・みかん狩り・もちつき大会



コーヒー・お茶で楽しいひととき



みんなで力を合わせて

子どもを見守る地域づくり

推進目標 1-(1)(2)

- ❖ 「お元気スクスク」の開催
 - ・0~2歳児親子対象のフリースペース
- ❖ 「社会を明るくする運動大会」「ミニ集会」の開催
- ❖ 地域と学校の連携・交流
 - ・車椅子の小学生の学校生活を支援
 - ・スポーツ交流会の開催



お元気 スクスク (クリスマス会)



車椅子の児童の学校生活を支援 (小田小学校)

安全で安心できるまちづくり

- ❖ 地域での安心できるまちづくり
 - ・【お元気ですかコール】定期的に電話をかけ安否確認
 - ・【お元気ボランティア】困った時のお助けマン
 - ・【お元気訪問】定期的に訪問し安否確認
 - ・【お元気お助け隊】地区社協のボランティア活動
 - ・【ゲートボール大会、グランドゴルフ大会の支援】



お元気ですかコール



お元気お助け隊 (落書きを除去)

●地区の特徴

金沢区の最北に位置しており、丘陵地を開発した坂道の多い住宅地で、北と西は磯子区に隣接しています。

七つの町内会・自治会が垣根をとって共同で多くの事業をし、事業名に当地区独自の『お元気○○』の名称をつけています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 8,717人 ●世帯数 3,870世帯 ●高齢化率 22.0%

きれいなまちづくり

推進目標 3

❁ 公園の清掃(月1回)

・富岡公園の清掃

❁ バス停の清掃(毎週)

・鳥見塚バス停と地下道の清掃



富岡公園



鳥見塚バス停付近の清掃

広報・啓発・人材育成

推進目標 1-(1)(2)・2・3

❁ 広報

・地区の情報を広く伝えるための広報紙を年2回発行
・「お元気スクスク」「お元気サロン」用ポスターを年1回発行

❁ 地域の担い手づくり

・行事、イベントなどを通じて新たな担い手の発掘と育成

❁ 地域ケアプラザとの連携

・地域と情報を共有・医療講座・講演会・研修会等の各事業を開催



医療講座

推進目標 1-(1)(2)・3

❁ 地域防災拠点防災訓練

❁ 防災訓練の実施及び参加

❁ 災害時要援護者避難支援事業

❁ 防犯パトロール



地域防災拠点防災訓練



防犯パトロール



富岡第二 地区



キャッチフレーズ 

広げよう！笑顔であいさつ近所の輪

健やかな子ども、青少年を育てます

推進目標 1-(2)・3

-  **子育てサロンの開催**（毎月第1水曜日 10時～富岡会館）
 - ・0歳から就学前までの子育て中の養育者を対象に
フリースペース“ころころ”を開催します。
-  **小学生の通学支援**
-  **社会を明るくする運動**



フリースペースころころ

いろいろな行事を通じて、地域の連携をつくっていきます

推進目標 1-(1)

-  **異世代交流イベント**
 - ・町内会の誰もが参加できる運動会を開催します。
 - ・家族ぐるみで参加できるボウリング大会を開催します。
 - ・町内会の誰もが参加できる餅つき大会を開催します。



餅つき大会

地域で健康づくりを進めます

推進目標 2

-  **健康づくりのためのコーラス教室**（毎月第2月曜日 13時30分～ 富岡会館）
-  **高齢者の健康増進・維持のための転倒骨折予防体操教室**
（毎月第3水曜日 13時30分～ 富岡シーサイドコーポ町内会集会所）
 - ・「かもめ体操・はまちゃん体操」などを行います。
-  **ウォーキング**
-  **グラウンドゴルフ（高齢者を対象）**
 - ・健康づくりと引きこもり防止・友だちづくりのため毎月2回実施します。（8・1・2月を除く）
-  **高齢者の新たな活動の場や機会の創出**



かもめ体操

●地区の特徴

富岡第二地区は区を中心より北に位置しており、地区の北側に富岡総合公園、東に富岡八幡宮と八幡公園などがあり、自然や歴史が融合したまちです。交通機関は南北に京急線が走り、京急富岡駅があります。地区の中央部に国道16号線が南北に走っています。

地区は富岡東部町内会・富岡中部町内会・富岡南部町内会・富岡シーサイドコーポ町内会・団地とみおか自治会・ツインミューズ富岡自治会・クオス横浜富岡で構成されています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 7,461人 ●世帯数 3,629世帯 ●高齢化率 24.9%

顔のみえるまちづくりを進めます

推進目標 1-(2)・3

✿ 認知症に関する講座の実施

- ・スリーA方式（あかるく・あたまをつかって・あきらめない）を取り入れた認知症予防のための講座を開催します。
- ・「認知症を理解するための講座」を開催します。

✿ 昼食会・配食とひとり暮らし高齢者世帯等への見守り訪問の実施

✿ 75歳未満のひとり暮らし高齢者、夫婦のみ世帯等への支援

- ・75歳以上のひとり暮らし高齢者については、横浜市の“ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業”で民生委員児童委員と地域ケアプラザ（地域包括支援センター）を中心に把握に努めています。

✿ 障害児・者の余暇活動支援

- ・障害児・者と地域住民、学校との交流促進と障害児・者の生活体験の拡大を図るための支援活動を進めます。

✿ 災害時要援護者への支援



スリーA講座

地域のさまざまな活動を広く周知します

推進目標 1-(1)

✿ 広報誌の発行

- ・地区社会福祉協議会の広報誌「みんなの輪」を年1回発行します。



広報誌・みんなの輪



富岡第三 地区



キャッチフレーズ 

誰もが安心して暮らせる「まち」にしよう

高齢者が安心して楽しく過ごせる「まち」

推進目標 1-(2)

-  高齢者の見守り・支えあいを行います
 - ・身近なエリアを基本とした訪問・情報提供・ボランティアによる見守り
-  地域の幅広い高齢者が参加できる場を設けつながり深めます
 - ・サロン、昼食会、茶話会の開催
-  認知症の理解を深め、声かけを推進します



サロン

多世代が交流し支えあう「まち」

推進目標 1-(1)

-  世代を超えて自由に集える場や催しものを実践します
 - ・スポーツフェスティバル、みかん狩り、バーベキュー大会
 - ・各町内会での多世代交流



スポーツフェスティバル

子育て・青少年育成に努める「まち」

推進目標 1-(2)

-  乳幼児世帯の見守りや交流の場を開催し子育て世代を応援します
-  小中学校・PTA と地域が連携し、子どもたちの健全育成を進めます



昔あそび

●地区の特徴

富岡第三地区は5つの町内会(富岡西部・富岡北部・富岡桜ヶ丘・ひかりが丘・西富岡)で構成されており、町内会独自の活動と地区全体の活動がバランス良く行われています。

自然豊かな地域には、西方に富士山を眺望でき、東方に東京湾から昇る朝日を遠望できるそれぞれの高台があり、お伊勢山の桜並木、富岡川のせせらぎ緑道、そして緑と花壇が調和した公園が点在して、地域の住民に安らぎをもたらす憩いの場所となっています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 10,321人 ●世帯数 4,566世帯 ●高齢化率 29.6%

障がい者にやさしく接する「まち」

推進目標 1-(2)

- ❖ 障がいについての理解を深め、あたたかく見守ります

みんなで健康づくりに取り組む「まち」

推進目標 2

- ❖ 子どもも大人も、共に楽しく集う健康づくり活動を行います
 - ・ラジオ体操、ウォーキング等
- ❖ 高齢者対象の介護予防・認知症予防活動の充実をはかります
 - ・健康づくり教室、脳トレ、体操教室等みんなで明るく



ラジオ体操

防犯・防災・交通安全に取り組む「まち」

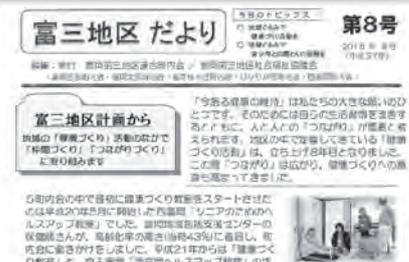
推進目標 1-(1)(2)

- ❖ 防犯パトロール等の防犯活動を多世代で行い、地域の防犯意識を深めます
- ❖ 町の防災活動を通じて地域の防災減災意識を高めます
- ❖ 地域の交通安全意識を高めます

地域活動のため人材発掘と情報交換に取り組む「まち」

推進目標 3

- ❖ 地域のさまざまな活動充実のために人材を確保し育成していきます
- ❖ 地域の活動紹介など積極的に情報提供・情報交換を行います
 - ・広報紙「富三地区だより」、富三地区ホームページ



富岡西・能見台 地区



キャッチフレーズ 

心地よく暮らせる街 富岡西・能見台
～明日が待ち遠しい街～

地域の福祉に関する情報の共有化を進める

推進目標 1 - (2)

 福祉の関係団体と関係施設とのネットワークをつくれます。

- ・地域の団体が中心となり、各福祉施設との連絡会を定期的を開催します。



安全・安心な街づくりを進める

推進目標 1 - (2)

 安全・安心な街づくりのための運動を実施します。

- ・交番と連携して防犯パトロールを実施します。
- ・災害に備えて防災訓練の実施や、防災備蓄の調達を進めます。
- ・災害時要援護者の避難体制を構築します。



高齢者が安心して住みなれた地域で暮らせる街づくりを進める

推進目標 1 - (2)・3

 一人暮らしの高齢者への地域による見守り等の支援に取り組みます。

- ・高齢者の方を対象にしたサロンや敬老会を開催します。
- ・シニアクラブによる趣味の会などを開催し、住民同士のつながりづくりを促進します。



●地区の特徴

能見台通の商店街を中心に広がる地域は昭和43年ころから宅地開発された地域です。能見台東地域は工場跡地が平成8年から開発され現在18棟2000戸の街になっています。

能見台東地域には能見台地域ケアプラザ、障害者地域活動ホーム、特別養護老人ホーム、高齢者短期入所施設、地区センター、金沢区地域子育て支援拠点といった高齢者、障がい者、子どもの施設が多く立地しています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 9,372人 ●世帯数 4,164世帯 ●高齢化率 23.3%

健康で過ごせる街づくりを進める

推進目標 2

✿ 子どもから高齢者まで、心と身体の健康づくりに取り組みます。

- ・離乳食教室を開催します。
- ・健康づくりを目的とした講座を通して、仲間と交流しながら健康づくりを進めます。



駅前から誇れる美しい街づくりを進める

推進目標 1 - (2)

✿ 住民が協力して生活環境を守る活動に取り組みます。

- ・公園の清掃や花壇の管理を行います。
- ・駅周辺の清掃や不良のビラを排除します。



世代間交流が活発な街づくりを進める

推進目標 1 - (1)

✿ 多様な世代が交流でき、家族ぐるみで参加できるイベントを実施します。

- ・多世代間の交流として、お祭り等の行事を開催します。



能見台 地区



キャッチフレーズ 

優しく、心豊かな子供の成長を育み
高齢者にやさしい街 能見台

笑顔あふれる街

世代を超えて、地域みんなが気軽に参加し交流できる場
顔見知りになれる場を工夫しています

- 能見台地区フェスタ
 - さわやかスポーツ・ふれあい動物園・体力測定
 - 3R夢推進事業・各種屋台・フリーマーケット
- バス旅行
- 能見台子どもフェスタ
- 異世代交流
 - みかん狩り・ハイキング等
- グラウンドゴルフ大会



助け合える街

住人同士の交流が活発になるよう、また安心して活動できるよう
助成金制度の充実、交流会を通じての情報交換

- 助成金制度の充実
 - 住民同士の交流活発化
 - 複数の町内会にまたがる団体
- 健康講座の充実
 - 生活習慣病講座の開催
- 高齢者の福祉事業の充実
 - 地域内高齢者会食グループとの連携
 - 配食サービス事業の紹介
 - 認知症サポーター養成講座の開催

- ボランティアグループへの支援と交流
- ボランティア講座の開催
- 交流会を通して情報交換や意見交換
- その他事業
 - 子育て支援講座の開催（離乳食講座）



能見台地区連合町内会

- 能見台一丁目自治会
- 能見台二丁目自治会
- 能見台三丁目町内会
- 能見台四丁目町内会
- 能見台五丁目町内会
- 能見台六丁目町内会
- 市営谷津坂住宅自治会

● 安心して暮らせる街

災害時に備えた取り組み・いざという時あわてないために
犯罪のない街づくりを目指しています

防災取組情報交換会 救急救命法講習会 社会を明るくする運動
金沢警察署生活安全課や金沢消防署能見台出張所のご協力を得て地域の方々に必要な情報を届けます。

● 地域情報が共有できる街

情報の発信と交流の場を作ります

ほのぼの 4回/年

地域密着のお役立ち情報を発信

これまでもこれからも街の姿を綴っていきます。

子ども会交流会 2回/年

各子ども会役員、町内会長、民生児童委員等が参加し
情報交換、意見交換

シニア交流会 1回/年

配食サービス会社紹介と試食会 開催

シニア世代の方々との交流を通して意見交換を実施

理事会 12回/年

各町会の取組み等情報交換



● 協力し合える街

地域との連携・行政との連携・学校との連携

【 地域 】

住民が集える行事を企画することで能見台全体を網羅できる相互コミュニケーション作りを支援し、住民の声に耳を傾け、連合町内会としての施設や他組織への連携によって、その希望の実現を目指します。

また住民自らが、地域活動に参画するモチベーションの醸成や仕組み作りを支援いたします。

【 行政 】

行政と住民を連携するための橋渡し役となることで、行政の実施する地域活動施策が住民の考えるものとずれないようにするために協力し合います。

また行政の持つ施設やサービスを住民に知らしめることで、必要な時に必要な人が利用できる機会を増やす取り組みを支援いたします。

【 学校 】

将来を担う子どもを見守り、育てていくために、学校や子どもたちに地域活動やイベントへの参加を積極的に働きかけ、世代を超えた地域の交流を図ります。

また地域と学校で、災害から身を守るための知恵、技術、助け合うことの大切さを子どもたちに教えるいざという時に備えます。

地域支援チームの取組

地域支援チームとは、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の職員がチームを作り、地域の福祉保健に関して住民が主体となって地域づくりを円滑に進められるよう、支援を行います。

・シティ能見台ふれあいの街町内会
・シティ能見台いこいの街町内会
・コスモシティ能見台自治会

・シティ能見台つどいの街町内会
・パークシティ能見台ブロードエア自治会
・能見台4丁目南欧坂町内会

・シティ能見台サニーサイドヒル町内会
・つどいの街九番館町内会
・つどいの街十番館町内会

金沢シーサイドタウン 地区



キャッチフレーズ 

生涯住み続けたいと思う街
～みんなでつくろう並木の未来～

大人も子どもも住みやすい街

推進目標 1-(1)・2

-  自分の得意技を活かして楽しく活動しよう
-  自由に集える「場」づくりに力を入れよう
-  信頼関係作りに努めよう
-  つなげる人の発掘や養成をしよう
-  子ども対象の事業に力を入れよう
-  養育者のネットワークづくりを進めよう
-  健康寿命を延ばそう
-  国を超えた交流事業を実現しよう



餅つきと正月遊び



サマーフェスタ



おやこわくわくひろば



社会を明るくする運動



「お父さんと遊ぼう！」

「障がいがある」ことへの理解と 共に暮らす

推進目標 1-(2)

-  養護学校や障がい者との交流
-  災害時の支援作りを考えよう



「楽しいスポーツをしよう！」



波輝 (なみき)



聖星学園 (せいじょうがくえん)

得意を活かして地域へ貢献—できることをできる範囲で—

推進目標 3

-  助け合いや見守り活動に力を入れよう
 - ・ちょっと困ったときの助け合いをすすめよう
-  ボランティアの担い手を増やそう
 - ・定期的な養成講座の開催
 - ・無理なくお役に立てること



お元気ですか
カード

助け合いグループ
交流会



ふれあい広場
「ほのほの」

●地区の特徴

金沢シーサイドタウン地区は、埋立て地に建てられた集合住宅からなる、南北に長い街です。整備された平坦な道路は幅広い歩道が設けられています。桜とつつじ、イチョウが季節を彩り、緑が豊富で、安全と景観に配慮された街並みが特色です。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 21,600人 ●世帯数 9,661世帯 ●高齢化率 30.7%

楽しい自治会活動で 安心な街に

推進目標 3

- ❁ 防災や災害時の仕組みづくり
- ❁ パトロール活動をやっいていこう
- ❁ 自治会の設立や加入の推進・内容の紹介
- ❁ 挨拶運動の推進

あいさつで 笑顔輝く並木の街に



地区推進連絡会

トランシーバーで
連携



防災に関する啓発

外部への魅力発信

推進目標 3

- ❁ 地区内の広報紙の発行
- ❁ 若い世代へのアピール
 - ・保育園・幼稚園が多く子育て環境がよい
- ❁ 交通の便利さ・住みやすさをアピール
 - ・緑や平坦な道が多い／横浜へ近い／並木インターに近い



地区内広報紙
右から
・連合インフォメーション
・地区社協ニュース
・コレナミ通信
・わくわくニュースなみキッズ

住環境の美化と整備

推進目標 3

- ❁ 次世代へ良い環境を残そう
 - ・緑の手入れや清掃活動
- ❁ 住みよい住環境に関わる取り組み
 - ・シーサイドライン駅のバリアフリー化 等



クリーン NAMIKI



住民集会



金沢東部 地区



キャッチフレーズ

**超高齢社会を見据えて
誰もが健康で安全・安心に暮らせる街を目指して**

災害発生時の要援護者支援体制の確立（新規）

推進目標 1-(2)

- 要援護者の実態把握調査
 - 要援護者の実態把握の徹底
 - 「黄色いバンダナパトロール」の実施
- 防災リーダー会議の開催
 - 地域防災拠点訓練に活かせる企画
 - 研修及び勉強会の企画、実施



いざ！という時に備えて救助訓練
安全確認の黄色いバンダナ

超高齢社会を見据えた体制づくり（新規）

推進目標 1-(2)・2

- 高齢者の健康づくり
 - 認知症予防・理解促進・社会参加の促進
- 高齢者が集う場所の確保



サロンで健康体操、健康チェック

障害がある人が暮らしやすい地域を目指して（継続・拡充）

推進目標 1-(2)

- 障害児・者の理解周知
 - 理解周知を促進するためのイベント共催
 - ボランティア人材確保
- 障害者避難スペースづくり
 - 避難スペースづくりの企画



障害がある方の疑似体験



みんなで手話講座

●地区の特徴

金沢東部地区は、能見台駅と金沢文庫駅の間位置する東側の丘の上の住宅地を中心とした地区です。

地区内には西柴小学校、西柴中学校があり、地域の人が利用できる自治会町内会の集会所が4か所あります。

学校・幼稚園などとも連携しながら、子どもから高齢者までを対象とした様々な福祉活動を展開しています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 11,044人 ●世帯数 4,749世帯 ●高齢化率 27.9%

子どもたちが健やかで安心して成長できる環境づくり (継続・拡充)

推進目標 1-(1)

親子の広場の拡充

- ・乳児及び未就園児と母親の交流場所の提供・拡充

子育てサークルへの支援

- ・リーダー研修の開催

小・中・高校生の健全な育成支援

- ・子育て世代と地域との連携
- ・青少年指導員及びスポーツ推進委員との連携

世代間の交流の促進

- ・高齢者と子どもたちが交流できるような支援



「赤ちゃんとお遊ぼう」
いっぱい笑顔が見られました



秋祭りでキッズボランティアが
チョコバナナを作製中!

地域の課題を地域で解決していくために (継続・拡充)

推進目標 1-(2)・3

ボランティアの確保及びコーディネーターの人材育成

- ・配食サービスの人材確保
- ・在宅福祉サービスの人材確保
- ・人材バンクの作成

町内会館使用拡充、空き家利用



剪定作業中



心をこめてお弁当づくり

金沢中部 地区



キャッチフレーズ

出会い・ふれあい・支えあい
～安全・安心に暮らせるまち～

世代を超えて気楽に交流できる地域

推進目標 1-(1)・2

- ❖ ふれあい生き生きサロンの開催
 - ・高齢者同士の交流や異世代との交流の実施
 - ・脳トレ、体操など介護予防への取り組み
- ❖ 新春懇親会の開催
 - ・各自治会・町内会ごとの交流
 - ・参加のお誘い訪問の実施
- ❖ 親子の遊び場、育児講座の開催
 - ・仲間づくりや情報交換、学びの場づくりへの取り組み
- ❖ 講演会・研修会・映写会の実施
 - ・健康講話・身近な困りごとの解決策を学ぶ場の企画
- ❖ 祭りを通しての絆づくり
 - ・祭事や保育施設を中心としたふれあい祭りを通じたつながりづくりへの取り組み



ふれあい
生き生きサロン



かたぶき文化サロン



親子の遊び場

安全・安心に暮らせる地域づくり

推進目標 1-(2)

- ❖ 「ふれあい訪問」「あんしんカード」「実態調査」の実施
- ❖ 防災対策の実施
 - ・避難訓練の実施
 - ・自治会・町内会ごとの防災対策の実施、地域防災拠点運営への参画
- ❖ 登下校の見守り・夜間パトロール
- ❖ 社会を明るくする運動の開催
 - ・青少年育成、地域のつながり、防犯など課題への取り組み、啓発の実施



防災訓練・起震車体験



登下校の見守り

●地区の特徴

金沢区のほぼ中央に位置する金沢中部地区は、金沢文庫駅を中心に京浜急行線と国道16号線に沿う形で細長く広がっています。地区内には「金沢文庫駅」があり、区内交通の要となっています。駅を中心とした商店街等に代表される賑わいのある地域、静かな住宅地等、様々な地域が共存しています。また、歴史ある神社・不動尊があり、地域のシンボルであると共に、祭礼等にぎわいをみせています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 12,551人 ●世帯数 5,949世帯 ●高齢化率 26.4%

得意な事や経験をいかして主体的に活動に参加できる地域

推進目標 3

🌸 遊びや技の伝承と交流

- ・「紙ヒコーキを作って飛ばそう」の実施
- ・「異世代交流ボウリング大会」の実施

🌸 自治会・町内会での世代ごとの行事の連携

- ・世代ごとの行事の共同開催の企画・実施

🌸 世代間交流イベントの開催

- ・昔遊びイベントの開催



紙ヒコーキを飛ばそう



異世代交流ボウリング大会



餅つき大会

情報を共有・発信しつながらあう地域

推進目標 1-(1)

🌸 機関紙・広報紙の発行

- ・年2回、広報紙「ふれあいの和」の発行
- ・随時、広報紙で地域の情報を発信

🌸 子育て情報の発信

- ・サロン開催などの周知方法の検討・実施



広報紙の発行



広報部会



金沢南部 地区



キャッチフレーズ 

南部地区全員参加のまちづくり

子育てしやすい環境をつくり、子どもの健全な育成を見守る地域

推進目標 1-(1)(2)・2・3

子育て支援事業

- ・地域のひろば
- ・こどもフェスティバル
- ・子育てセミナー
- ・子育て支援者研修
- ・広報誌「Sea Angel通信」



こどもフェスティバル

青少年健全育成事業

- ・こどもまつり
- ・餅つき大会
- ・少年消防クラブ活動
- ・社明大会
- ・社明大会ミニ集会



少年消防クラブによる着衣水泳訓練



餅つき大会

高齢者、障がい者が安心して元気に暮らせる地域

推進目標 1-(1)(2)・2・3

-  異世代の交流
-  高齢者ふれあいサロン
-  町ぐるみ健康づくり支援事業
-  健康づくりの基本である食育の推進

- ・異世代交流ふれあい大会
- ・家族総ぐるみ大運動会
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・ウォーキング ・医療講座
- ・サロン交流を目的としたカラオケ交流会



カラオケ交流会



ウォーキング

●地区の特徴

京浜急行金沢文庫駅から海の公園、八景島方面へかけてのエリアです。

地域内には、文庫小学校があり、歴史的、文化的にも由緒ある称名寺をはじめ寺院・神社等が多く、横浜市内で数少ない漁港である柴漁港をかかえています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 13,863人 ●世帯数 6,408世帯 ●高齢化率 22.2%

人のふれあいを大切にする地域

推進目標 1-(1)

- ✿ 文化、歴史、福祉保健講座の開催
- ✿ 福祉お花見バザー等の開催
- ✿ 地域役員協働事業の推進
- ✿ 広報・啓発事業の推進

- ・福祉お花見バザー
- ・どんど焼き
- ・広報誌「福祉のこだま」



文化、歴史、福祉保健講座



どんど焼き

きれいで安全に暮らせる地域

推進目標 1-(2)

- ✿ 安心・安全街づくりの推進
- ✿ 災害時対策

- ・見守り隊
- ・防災訓練



防災訓練



登下校時の見守り



金沢 地区



キャッチフレーズ 

あいさつで隣近所の支えあい

子育て世代から高齢者まで誰もが集い、支えあえる地域づくり

推進目標 1-(1)・2

【子育て支援】～友だちつくろう～

- ・未就園児とその保護者を対象にフリースペースで実施。月2回(隔週月曜日開催)
- ・区役所主催の地域育児教室(1回/月)に保健活動推進員や主任児童委員が協力

【子育て支援】～交流の場以外の子育て支援活動～

- ・未就園児とその保護者を対象にフリースペース以外で気軽に参加できるイベントを実施

【健康づくり】～町ぐるみ健康づくり～

- ・健康に関する講演会や教室を実施
- ・元気づくりステーション「みんなの太極拳」毎月実施
- ・転倒骨折予防教室・健康講話



地域活動に多くの人に関われる地域づくり

推進目標 1-(1)・(2)・3

【次世代育成】～ボランティア活動等の人材確保・育成

- ・子育て世代も地域活動の担い手として関わりやすいしくみづくり
- ・子ども会活動やPTA活動と連携し、地域活動へとつなげる
- ・じゃがいも掘り(6月)、みかん狩り(11月)

【交流による活性化】～高齢者交流～

- ・独居や高齢者夫婦のみ世帯に安否確認やふれあいを目的とした給・配食事業の実施
- ・高齢者同士が気軽に集えるサロンづくり

【交流による活性化】～子ども会交流・異世代交流～

- ・家族や地域ぐるみで参加できるイベントの実施
- ・各町内会の夏祭りの実施
- ・「バーベキュー大会」の開催(1回/年) 8月
- ・どんど焼き(1回/年) 1月



●地区の特徴

金沢地区は、京急金沢文庫駅の南東に平潟湾を囲むように位置します。町屋町、平潟町、洲崎町、乙舳町、野島町と泥亀及び大川町の一部から構成され、14の自治会町内会が所属しています。江戸期に平潟湾の大規模な埋め立てが行われ、水田(蓮田)や塩田等として利用されていました。現在は、いわゆる金沢八景の「平潟落雁(ひらかたのらくがん)」「洲崎晴嵐(すさきのせいらん)」「乙舳帰帆(おっとものきはん)」「野島夕照(のじまのせきしょう)」の地としても知られ、古い市街地と、新しいマンション群が混在する地区となっています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 15,430人 ●世帯数 7,735世帯 ●高齢化率 27.7%

誰もが安心して安全に暮らせる地域づくり

推進目標 1-(2)

✿【安全・安心の確保】～地域パトロールの実施～

- ・各町内会で独自に1回/週程度実施

✿【安全・安心の確保】～災害に備えた体制づくり～

- ・各町内会の防災訓練や地域防災拠点訓練の実施
- ・津波避難施設の利用と訓練の実施
- ・災害時要援護者支援の推進



住民同士の「つながり」による安心できる地域づくり

推進目標 1-(2)

✿【「つながり」による連携】 ～顔と名前のわかる近所づきあいの推進～

- ・自転車マナーアップ三世代大会への参加
- ・住民同士の声掛けやあいさつを広げる
- ・学校、PTA等地域の関係団体とのつながりを深める
- ・木工教室(金沢小学校)



訪れたい住みたいと思える魅力ある地域をPR

推進目標 1-(1)

✿【金沢の魅力発信】～金沢地区の活動紹介を積極的に発信～

- ・観光協会の事業等に積極的に協力
- ・町内会の掲示板を有効に利用し、行事等の情報提供を行う。
- ・海を活かした取組



六浦東 地区



キャッチフレーズ

誰もが住みよい支え合いの街 六浦東

世代を超えて気楽に交流しあえる地域づくり

推進目標 1-(1)(2)・2・3

いこいの場

・地区の誰でも参加できる交流の場として充実を図ります。

支えあうまちづくり活動

・世代を超えた人たちの交流の場（サロン）を基盤とした見守り体制作りを行います。また、瀬ヶ崎小学校の地域交流室を活用して学校と連携したまちづくりを行います。

ふれあいサタデー

・毎週土曜日に中学生以上を対象としてスポーツ等を実施します。また、夕涼み・お月見・新春俳句会等を実施します。

健康づくりの会

・運動講座、歴史散策、ウォーキング、料理教室など健康講座を行います。

芸能祭

・地域内の子どもから大人までが歌や踊りなどの練習の成果を発表し、観客の皆様とふれあいます。

ふれあい盆踊り

・子どもと先生のバンド演奏もある盆踊り大会を開催します。



▲ 健康づくりの会（親子の食育教室）



▲ 芸能祭

地域活動にみんなが参加します

推進目標 1-(2)・3

地域活動

・地域在住で匠の技のある方、特技のある方などで「人材マップ」を作ります。
・関東学院大学の学生、横浜南共済病院を活用します。

社会を明るくする運動地区大会（社明大会）

・年1回講師を招き全国的な行事に賛同するため「社会を明るくする運動地区大会」と随時にミニ集会を行います。

▼ 社明大会



●地区の特徴

六浦東地区は、侍従川の南、横須賀市に隣接して位置しています。北東に平潟湾を望み、対岸の野島町とを結ぶ夕照橋は景観の美しいことで知られています。

この一帯は、江戸時代以降に平潟湾を埋め立てて造成された土地で、江戸時代の地図には「室の木」「瀬ヶ崎」「高谷」「内川」などの地名が記され、これらの地名は今も身近な生活の場で使われています。古い町と山を造成した新しい町とが融合している地区で、防災に力を入れています。

また、文教施設の関東学院大学の幼・小・中・大学、瀬ヶ崎小学校は防災と教育等で地域と密接な協力関係にある他、横浜南共済病院とも連携しながら活動を進めています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 6,405人 ●世帯数 3,009世帯 ●高齢化率 25.9%

健やかな子ども・青少年を育てます

推進目標 1-(1)・2・3

✿ わくわくキッズ

- ・0歳から就園前までの子育て中の親子を対象に、月2回、町内会館でフリースペースを開催します。

✿ 地域ふれあいまつり

- ・「人材マップ」を主体に地域と小学生の交流祭を行います。

✿ 青少年健全育成行事

- ・毎年、スポーツ大会を行います。

✿ ヤングボランティア「バルーン」

- ・盆踊り大会の夜店出店を中心に、地域のイベントスタッフとして活動しています。

✿ アスレの森の活用

- ・瀬ヶ崎小学校の「アスレの森」を整備し、イベントを開催します。

✿ 学童の安全を見守り

- ・登下校の安全を手助けします。



▲ 地域ふれあいまつり



▲ 青少年健全育成行事

✿ 拠点防災訓練

- ・行政、瀬ヶ崎小学校、消防団、関東学院大学、横浜南共済病院、地区自治会町内会等の参加で訓練を実施するとともに、要援護者支援活動を行います。

✿ 高齢者、養育者の見守り

- ・一人暮らし高齢者や養育者の安全と日常活動の手助けをします。



▲ 拠点防災訓練



六浦 地区



キャッチフレーズ

支えあい 学びあい 笑いあい
三つの「あい」ある六浦へ

地域でいきいき 楽しい老後

推進目標 1-(1)(2)・2

- 高齢者の見守り ・年3~4回見守り訪問します。年1回、高齢者の集う場所を用意します。
- 学童とのふれあい給食会 ・地域住民と小学校で学童と給食を一緒に食べます。
- 学童とのふれあいタイム ・学童が町内会館を訪問し交流を深めます。
- 昔遊びの会 ・地域の高齢者が、新小学一年生に昔の遊びを伝えます。
- 高齢者お花見会 ・さくらの開花に合わせて六浦公園でお花見会を実施します。
- 高齢者の居場所づくり ・高齢者が足を運びやすい町内会単位くらいの規模で居場所づくりを進めます。



楽しい仲間づくり

推進目標 1-(2)

- 研修会 ・その年の問題をテーマに話し合い、仲間と共に学ぶ場にします。
- 社会見学 ・工場や福祉施設等の見学会を年1回開催します。



子育てしやすい環境づくり

推進目標 1-(2)

- 子育て支援活動（ハイハイくらぶ）
・0歳~未就園児母子を対象に支援活動を行います。
- むつりんピック
・六浦東地区と六浦西地区と合同で親子参加型イベントを年1回開催します。



子どもから高齢者までみんなで集まろう

推進目標 1-(1)・2

- 春季ハイキング ・子どもから高齢の方、障害のある方も一緒に、じゃが芋掘りを開催します。
- 秋季ハイキング ・健康づくりを目指した地域めぐりハイキングを開催します。
- お祭り ・7月の第2日曜日に瀬戸神社の天王祭に合わせて開催します。
(六浦中学校の生徒は「総合」の授業の一環として、各町内会に参加します)



●地区の特徴

金沢区の南に位置する六浦地区は、鎌倉時代に源頼朝が勧請した瀬戸神社があり、道路を挟んで神社の前に頼朝の妻北条政子が勧請した弁財天を祀る琵琶島神社が琵琶の形に、平瀨湾に浮かび美しい景観を作っています。

現在、金沢八景駅前が開発中ですが、平成31年に完成すればシーサイドラインが駅に接続し、駅西側の円通寺跡にある木村邸は歴史遺産を残した公園となり、東照宮のあった権現山からお伊勢山に続く山道は健康づくりに良いハイキングコースになるでしょう。

海と緑と歴史に恵まれた地区で、2つの大学、高校がある文教地区です。

高齢化は進んでいますが、地域と学校との連携の絆は強く、小学生には昔の遊びを地域の高齢者が教えたり、中学生は夏祭りに参加して汗を流すと共に六浦の歴史を知り、大学生との地域連携も盛んです。

温暖な気候、穏やかな人情、そんな中で支えあい、学びあい、笑いあう地域を作っています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 13,554人 ●世帯数 6,637世帯 ●高齢化率 27.4%

安全・安心なまちにするためにみんなで力をあわせる

推進目標 1-(2)・3

❁ 社会を明るくする運動

- ①社明大会：年1回秋季に講師を招いて開催します。
- ②ミニ集会：身近な問題について考える機会を持ちます。

❁ 福祉講座

- ・認知症、健康、障害等さまざまな課題や問題について、講師を招いて講演会を開催します。

❁ 地域ケア意見交換会

- ・身近な問題を取り上げ、講師を招いて年1回開催します。

❁ 子どもの見守り

- ・登下校の子どもを地域で見守ります。

❁ 災害時に備えた取り組み【新規】

- ・もしもの災害に備えた仕組みづくり
(災害時要援護者支援や見守り、地域の防災訓練等)



社協の取り組みをわかりやすく伝える ～広報啓発活動～

推進目標 3

❁ 「広報誌」や「むつうらたより」の発行

- ・広報誌「社協むつうら」を年1回、「むつうらたより」を年2回、それぞれ5,000部発行します。社協の様々な取り組みや、地域でのイベント等を写真を使ってわかりやすく伝え、楽しんで読めるような誌面作りを目指します。また誌面をリニューアルし、六浦地区の歴史や自然環境なども積極的に取り上げていきます。



むつうらたより
キャラクター
「六浦ハゼオ氏」



六浦西 地区



キャッチフレーズ

19のつながりのあるまち
心のふるさと六浦西

世代を超えて、まちを超えてつながっていく

推進目標 1-(1)(2)・2・3

安心

- ⑬ 高齢者・介護者が生きがいをもって、地域のつながりの中で活躍できる場づくり
 - ・各地域のボランティア活動の充実 ①
- ⑭ 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり
 - ・高齢者サロン、昼食会の開催 ②
- ⑮ あらゆる世代の人々（全員参加）が交流できるイベント・場づくり
 - ・異世代交流 六浦西地区フレンドまつり ③
 - ・異世代交流 六浦西地区フレンドまつり ④
 - ・地域活動への参加、各町内会のお祭り ⑤
 - ・コミュニティサロン
 - ・盆踊り等のイベント
- ⑯ 困った時に手伝ってといえる、支え合えるつながりづくり
 - ・挨拶など隣土の声のかけあい
 - ・障害児者への声かけ、見守り
- ⑰ 一人ひとりが災害に備え、ともに助け合えるまちづくり
 - ・地域防災拠点訓練 ⑥
 - ・自主防災組織の活動の充実

- ⑱ 豊
- ⑲ 防
- ⑲ ま
- ⑲ す

- ⑲ 安心して子育てす



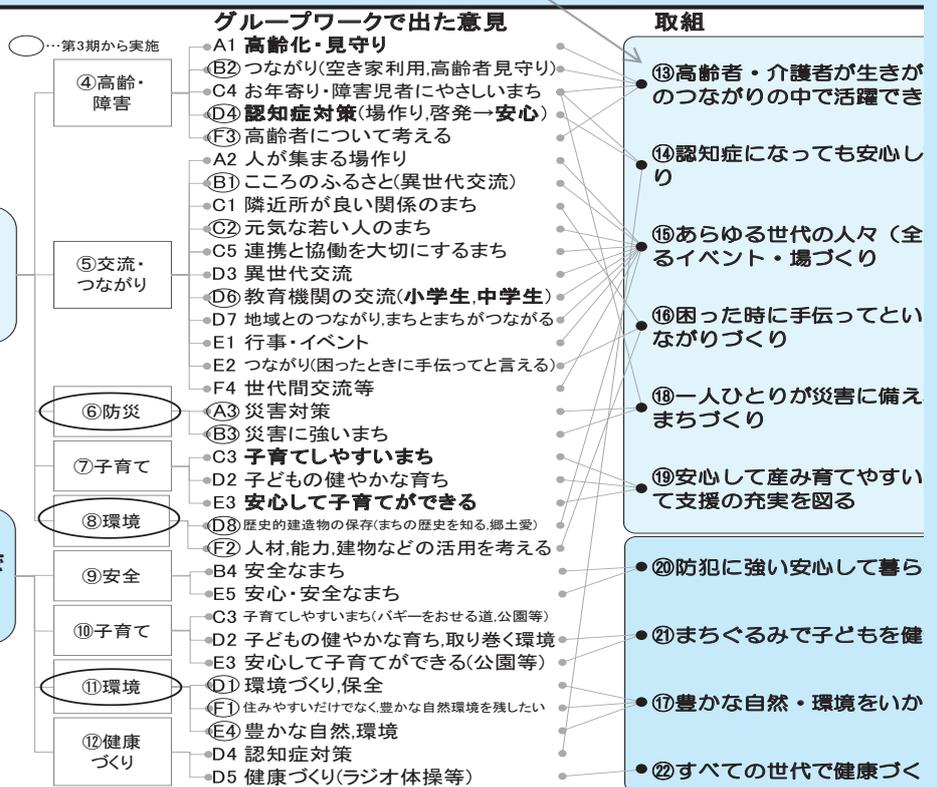
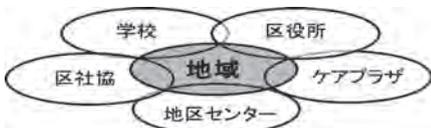
第3期地域福祉保健計画 地区別計画の策定

※各団体の代表者が集まり、地域の将来像についてグループ(A~F)に分かれて意見を出し合いました。課題や、対応策を整理し、系統図にまとめました。

② 世代を超えて、まちを超えてつながっていく

① 19のつながりのあるまち
心のふるさと六浦西

③ 安心して、健康で暮らせるまち



●地区の特徴

金沢区の南西に位置し、横須賀市・鎌倉市・逗子市・栄区と接しています。
 鎌倉幕府によって切り開かれた朝比奈切り通しなどの史跡が点在する地域であり、丘陵地に囲まれた旧道や侍従川を中心に発展してきました。
 当地区は起伏に富んだ広い地域に19の自治会・町内会があります。
 自治会・町内会加入世帯数で大きいところは1,926世帯、小さいところは66世帯と単位の差が非常に大きい地域です。世帯数では約30倍の差があります。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 26,914人 ●世帯数 12,114世帯 ●高齢化率 30.4%

して、健康で暮らせるまち

推進目標 2・3

かな自然・環境をいかしたつながりづくり

・次世代にふるさとと歴史や自然を引き継ぐための活動
 犯に強い安心して暮らせるまちづくり

・まちパトロール
 ちぐるみで子どもを健やかに育てる

・親子で集える場の充実
 ・養育者や子どもへの声かけ、見守り
 べての世代で健康づくり

・町内会、団体等による健康づくり活動の実施



健康ウォーキング



まちパトロール

て産み育てやすいまちを目指し、子育て支援の充実を図る



町内会のお祭り



はぐ・はぐ



ふるさと大道村

具体的な活動内容(重要事項抜粋)

実施主体

※実施年度 H28年度～H32年度

いをもって、地域
る場づくり

- 1) 各地域のボランティア活動の充実
- 2) 小学生登下校の見守り

- 自治会・町内会、六浦ボランティアネットワーク、中学校
- 登下校見守りボランティア

て暮らせるまちづく

- 1) 高齢者サロン・昼食会の開催
- 2) 認知症に関する講座
- 3) 介護者の集い(認知症カフェの準備など)

- 社協、自治会・町内会、民生委員児童委員
- 地域ケアプラザ、自治会・町内会、シニアクラブ
- 地域ケアプラザ、シニアクラブ、自治会・町内会
- 社協、自治会・町内会、福祉団体

員参加) が交流でき

- 1) 異世代交流 六浦西地区フレンドまつり
- 2) 交流できる場づくり(コミュニティサロン、地域活動参加)
- 3) 各町内会のお祭り・盆踊り等のイベント

- 自治会・町内会
- 自治会・町内会
- 社協、自治会・町内会
- 社協

える、支え合えるつ

- 1) 挨拶など隣同士の声のかけあい
- 2) 各地域のボランティア活動【再掲】
- 3) 自治会・町内会の加入率を上げる活動

- 学校、社協、自治会・町内会
- 自治会・町内会、六浦ボランティアネットワーク、中学校
- 自治会・町内会
- 地域防災拠点運営委員会

、ともに助け合える

- 1) 地域防災拠点訓練
- 2) 各町内会の自主防災組織の活動
- 3) 要援護者支援活動、障害児者の見守り・支援

- 自治会・町内会
- 社協、主任児童委員、民生委員児童委員、自治会・町内会
- 自治会・町内会
- 自治会・町内会、福祉団体

まちを目指し、子育

- 1) 子育てサロン
- 2) 子育て支援・地域での親子のふれあい
- 3) これから子どもを産み育てる若い世代に対する子育てをサポートする仕組みの周知

- 社協、主任児童委員、民生委員児童委員、自治会・町内会
- 自治会・町内会、社協、主任児童委員、民生委員児童委員
- 民生委員児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、区役所、社協、自治会・町内会

せるまちづくり

- 1) 安心して暮らせる まちパトロール
- 1) 子育てサロン【再掲】

- 自治会・町内会(警察、消防団、防犯協会、区役所)
- 社協、主任児童委員、民生委員児童委員、自治会・町内会

やかに育てる

- 2) 公園での見守り、声かけ
- 1) 大道小「ふるさと大道村」「とんぼ池」、朝比奈小「ほたる池」、侍従川の清掃

- 自治会・町内会、シニアクラブ
- ふるさと大道の風景をつくる会、ほたる池守り隊、ふるさと侍従川に親しむ会、小学校、中学校

したつながりづくり

- 2) 六浦西地区歴史財産の伝承
- 1) 町内会・団体等による健康づくり活動の取組

- 自治会・町内会
- 自治会・町内会、保健活動推進員、健康づくりの会

り

- 2) ウォークラリー大会
- 3) 食生活改善、食育

- 青少年指導員、5校PTA
- 食生活等改善推進員

釜利谷 地区



キャッチフレーズ 

誰もが安心して暮らせるまち
みんなで考え行動する「釜利谷」

健康づくりで元気に暮らそう

推進目標 2

 こどもから大人まで、みんなが毎日を元気に過ごすため、介護予防・健康増進の取組を進めます。

- みんなで体操
- いきいきウォーキング



高齢者の暮らしのために

推進目標 1-(2)

 高齢者が安心して、いきいきと暮らせるよう、認知症予防や、地域の見守りを行い、高齢者同士の交流を深めます。

- 認知症理解の促進
- 「敬老芸能大会」
- 高齢者の見守り
- 高齢者のふれあいの場づくり



子育てを応援します

推進目標 1-(2)

 こどもの健やかな成長のため、子育てを地域ぐるみで見守り、支援します。

- 「親子ほっとサロン」
- 「親子すくすく広場」
- 「親子でおさんぽ」
- 子育て支援体制の強化



●地区の特徴

釜利谷地区は、釜利谷東1～8丁目、釜利谷南1～4丁目、釜利谷西1～6丁目で構成され、主に16の自治会、町内会が親切・思いやりを基本に自然豊かな明るい地域づくりを目指しています。地区内には小学校5校、中学校3校、高校や関東学院大学のキャンパスもあり、金沢自然公園、関ヶ谷市民の森、緑道やアメニティ通りがあり、豊かな生活環境や景観に恵まれています。

●地区のデータ(平成27年3月末現在)

●人口 31,827人 ●世帯数 14,070世帯 ●高齢化率 28.0%

青少年の育成のために

推進目標 3

❁ 地域の小学校、中学校と連携し世代間の交流を行い、地域全体で青少年の健全な育成を図ります。

- ・ 青少年の健全育成の取組
- ・ 青少年の見守り活動
- ・ 球技大会
- ・ さわやかスポーツの推進
- ・ 「新春百人一首大会」
- ・ 「こどもの広場」



障がい児者の暮らしのために

推進目標 1-(2)

❁ 障がい児者とその家族が安心して暮らせるように、地域の支えあいの輪を広げます。

- ・ 障がい児の支援活動
- ・ 障がい児者への理解促進



みんなで作る住みよいまち

推進目標 3

❁ 誰もが、人と人とのつながりや地域の魅力を実感でき、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

- ・ 広報紙「かまりや」の発行
- ・ 「社会を明るくする運動地区大会」の開催
- ・ 消防団、防災拠点、町内防災担当者の情報交換
- ・ 地域の資源を活かした自主事業の実施
- ・ あいさつ運動



計画の推進体制

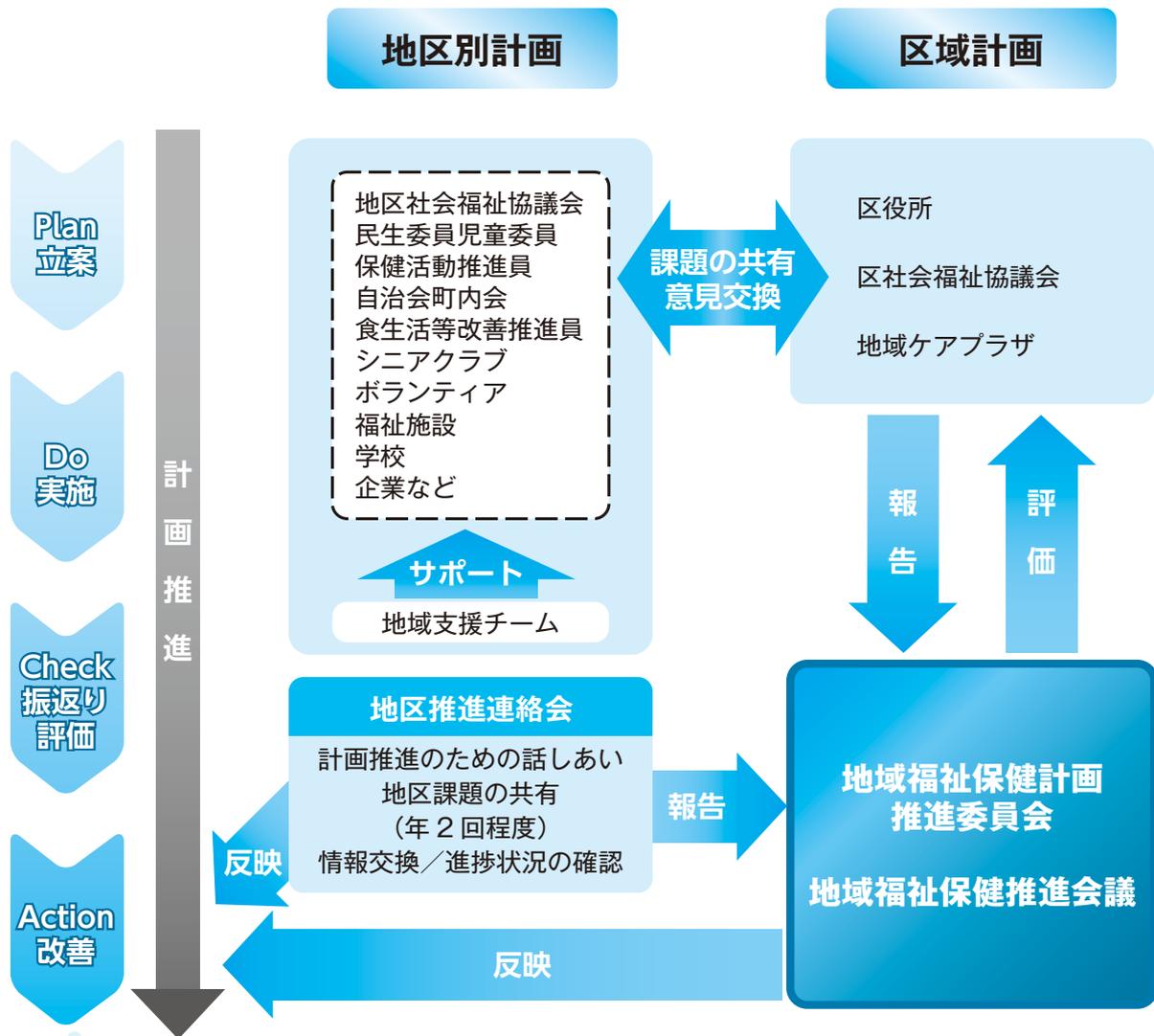
第3期金沢区地域福祉保健計画の推進に向けては、地域・区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザなどがそれぞれの役割を確認しながら協働して取り組んでいくことが重要です。

区内14地区の「地区別計画」は、「地域支援チーム」がサポートしながら、地域に暮らす人や活動している人が主体となって推進していきます。

「区域計画」は、「地区別計画」と連動しながら、各機関が連携して推進していきます。

毎年、目標に対する取組の成果を地域福祉保健計画推進委員会、地域福祉保健推進会議に報告し、評価を受けながら次年度以降の活動に反映させます。

【計画推進の流れ】



資料集

1 第2期金沢区地域福祉保健計画(平成23年度～27年度)の振り返り

【理 念】 安心して暮らせる支えあいのまちづくり

- 【重点目標】 I 必要な人に的確に支援が届く仕組みの定着
II 地域の自立的な福祉保健活動の広がり

推進目標	第2期金沢区地域福祉保健計画での主な取組
1 要援護者への支援 2 関係情報の発信・共有の推進 3 関係団体・機関との連携強化 4 活動の機会等の促進 5 人材の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○サロン、会食、配食訪問活動などを通じて、多様な方法で見守りを実施しました。また各地区で災害時の安否確認に向けた取組が行われました。 ○広報誌やホームページを作成し情報発信に取り組みました。 ○関係者が集まって意見交換を行い、ネットワークの構築を図りました。 ○区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが一体となって「地域支援チーム」を編成し、各地区と向き合う(寄り添う)体制づくりを進めました。 ○地域で行われる健康増進につながる活動や、自主活動団体の支援を行いました。 ○ボランティア活動へのきっかけとなる講座を開催しました。 ○ボランティア活動グループどうしの交流会を開催し、学びや悩みの共有を行いました。

2 第2期計画と第3期計画のつながり

第3期金沢区地域福祉保健計画は、第2期計画の基本理念を継承し、取組の成果を踏まえ、推進目標を設定しています。なお、第2期計画の推進目標2、3については取組の要素として第3期計画の推進目標の中に反映させました。

【第2期計画 推進目標】

- 1 要援護者への支援**
- 2 関係情報の発信・共有の推進**
- 3 関係団体・機関との連携強化**
- 4 活動の機会等の促進**
- 5 人材の発掘・育成**

【第3期計画 推進目標】

- 1-(1) 多世代が知りあう場づくり【234】**
 - ① 情報の周知
 - ② 身近な地域で参加できる交流の機会と場づくり
 - ③ 地域の人材や資源の共有
- 1-(2) 日常生活の中での多様な見守りや助けあいを推進する仕組みづくり【123】**
 - ① 理解・啓発活動の推進
 - ② 見守りの輪を拡大
 - ③ 相談機能の充実と支えあいネットワークの構築
- 2 みんなで取り組む楽しい活動をとおした健康づくり【234】**
 - ① 情報発信・啓発
 - ② 活動の機会等の促進
 - ③ 健康づくり活動を支える環境整備
- 3 誰もが活躍できる場やきっかけを通じたいきいきと暮らせる地域づくり【2345】**
 - ① 啓発・きっかけづくり
 - ② 活躍の場をコーディネート
 - ③ 活動への支援



3 第3期金沢区地域福祉保健計画の策定経過

- 平成26年
6月

**平成26年度地域福祉保健計画推進委員会
平成26年度地域福祉保健推進会議**

第2期計画の中間期振り返りを行い、第3期計画の策定の方向性について意見交換を行いました。
- 8月

金沢区暮らしや地域に関する意識調査

区民、民生委員児童委員などへのアンケート調査を行いました。
(第5章 6 アンケート調査結果・概要 参照)
- 10月

平成26年度第1回地区推進連絡会

身近な地域の生活課題や地域の将来像について、活発な意見交換が行われました。


- 平成27年
3月

平成26年度第2回地区推進連絡会

第1回地区推進連絡会でも出された意見を踏まえて、地区別計画案を検討しました。
- 8月

**平成27年度地域福祉保健計画推進委員会①
平成27年度地域福祉保健推進会議①**

第3期計画素案の案について意見交換を行いました。


- 9月

平成27年度第1回地区推進連絡会

各地区の地区別計画をまとめました。
- 11月

素案公表 意見募集
- 平成28年
2月

**平成27年度地域福祉保健計画推進委員会②
平成27年度地域福祉保健推進会議②**

意見募集の結果等を踏まえ、第3期計画原案について意見交換を行いました。
- 3月

確定・公表
- 4月

第3期金沢区地域福祉保健計画の推進

4 用語解説

都市計画マスタープラン金沢区プラン

「都市計画マスタープラン」は、都市計画法第18条の2に規定されている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」です。「区プラン」は、区の将来像等を示すとともに、市民との協働でまちづくりを進めていくうえでの基本的方針を示すものです。金沢区プランは平成12年12月に策定しました。(上位計画や各分野別計画等の改定や社会経済状況の変化を踏まえ、平成29年度改定予定)

地区推進連絡会

地域に暮らす人が主体となって開催する、身近な地域の様々な生活課題の解決に向けて話し合う場です。テーマに応じて学校・警察・消防・NPO法人・商店街などの関係機関が集まり、区内14の連合町内会の単位で年2回開催しています。また、地区別計画の推進母体にも位置づけられています。

ガイドボランティア

視覚障害や肢体不自由、知的障害、精神障害のある障害児・者及び障害者総合支援法の対象となる難病等の人を対象に、外出時に付き添うボランティアです。

地域支援チーム

金沢区では、地域情報の共有及び課題の解決を図ることを目的に、区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザの職員によるチームを構成しています。チームは14の連合町内会の単位及び金沢区工業団体連絡会に置かれ、地域と協働して地区別計画の策定・推進や地域力向上に向けた支援等を行います。

(※)金沢区工業団体連絡会では、地区別計画は策定していません。主として連絡・調整を行います。

地域福祉保健計画推進委員会

福祉・保健・医療団体関係者及び有識者で構成し、地域福祉保健計画の策定・推進・評価について意見交換を行う委員会です。

地域福祉保健推進会議

金沢区における福祉・保健・医療の連携及び総合的なサービスの円滑な推進に向けて、関係機関の代表者に意見を求める会議です。

「障害」の表記について

障害という言葉については、「障がい」や「障碍」という文字での表記といった例も見られますが、第3期金沢区地域福祉保健計画については、第3期横浜市障害者プランに準じて「障害」という表記で統一し、その表記に影響されることなく、着実に計画を推進していくこととしました。



5 地域で活動する主な団体等

自治会町内会

地域に居住する人々が、身近な問題を解決したり、地域の人々との結びつきを深めながら、豊かで住みやすいまちづくりを目指して、自主的に運営している民主的な団体です。(平成28年1月現在 172団体)

金沢区町内会連合会は、区内14地区の連合町内会代表者によって組織された団体であり、防犯や防災、福祉、環境問題などについて、地域の意見を代表して区に意見を述べ、区政の運営に反映させるなど暮らしやすいまちの実現のために日々活動しています。

金沢区社会福祉協議会

社会福祉法第109条にもとづき、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体です。地域住民や社会福祉関係者などが会員として参加し、その協力を得ながら活動を進めることが特徴です。民間としての「自主性」と、広く住民や社会福祉関係者に支えられる「公共性」という2つの側面を併せ持った組織です。

また、区域には概ね、連合町内会を単位として組織された地区社会福祉協議会があります。「自分たちの地域は、自分たちで良くしていこう！」という思いで組織された任意団体で、地域福祉保健計画を実際に推進する組織として期待されるところです。

金沢区民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員は厚生労働大臣と横浜市長から委嘱された特別職地方公務員です。

地域の身近な相談相手として、介護や子育てなど福祉に関する様々な相談に応じ、区役所や関係機関を紹介する「つなぎ役」として活動しています。金沢区には、金沢区民生委員児童委員協議会と16の地区民生委員児童委員協議会があります。(平成28年1月現在 235人)

金沢区主任児童委員連絡会

主任児童委員は、こどもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員児童委員です。相談内容に応じて、エリアを担当する民生委員児童委員や区役所、学校、児童相談所などと連携して支援を行っています。(平成28年1月現在 31人)

金沢区保健活動推進員会

保健活動推進員は、自治会町内会の推薦を受けて市長に委嘱され、地域の健康づくり活動の推進役、横浜市の健康施策のパートナーです。地域において生活習慣病予防などの健康づくり活動や、活動に取り組む環境を支援する役割を担っています。(平成28年1月現在 277人)

金沢区食生活等改善推進委員会(愛称 ヘルスマイト)

食生活等改善推進員は、「私たちの健康は、私たちの手で」をスローガンに、食生活・運動・休養の健康づくりを地域に普及している全国組織のボランティア団体です。健康寿命の延伸を目的とした健康横浜21に基づき、乳幼児から高齢者までのライフステージに合わせた健康づくりや食育の啓発活動を地域と連携しながら推進しています。金沢区ではウォーキングの活動にも重点を置き、会員と地域住民とのふれあいの場となっています。(平成28年1月現在 182人)

金沢区シニアクラブ連合会

シニアクラブは、高齢者が住み慣れた地域での仲間づくりをとおして、生きがいと健康づくり、「生活を豊かにする楽しい活動」を行っています。その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、「地域を豊かにする社会活動」に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めています。また訪問や電話による見守り、集いの場づくり等をとおして高齢者相互の支えあい活動を進めています。(平成28年1月現在 82団体)

金沢保護司会

保護司は、社会奉仕の精神をもって、罪を犯してしまった人の更生を手助けするとともに、犯罪の予防のための啓発に努め、公共の福祉に寄与することなどを使命としています。保護司は、保護司法の規定に基づき、都道府県の区域を分けて定められた保護区のいずれかに所属して、保護区ごとに保護司会を組織するものとされています。(平成28年1月現在 32人)

金沢区更生保護女性会

女性の立場から次代を担う青少年の健全育成に努めるとともに、過ちに陥った人たちの立ち直りを助け、明るい社会作りを目指すボランティア団体です。

社会を明るくする運動・地区大会・ミニ集会への参加・協力のほか、保護司会の協力で、毎年8月第1土曜日にシーサイドライン八景島駅周辺でのキャンペーンを実施しています。

また、こどもたちの立ち直りのために、矯正施設へ愛の年賀はがきを送付しています。(平成28年1月現在 193人)

金沢区青少年指導員協議会

青少年指導員は、地域の自治会町内会、学校などと連携を取りながら、地域ぐるみで青少年健全育成のための活動を推進する役割を担っています。各地区での環境健全化活動、各種行事などへの協力、研修等への参加による自己啓発などを行っています。(平成28年1月現在 132人)

金沢区スポーツ推進委員連絡協議会

スポーツ推進委員は、地域(地区連合町内会または自治会町内会)を活動拠点として、地域住民のスポーツ・レクリエーション振興についての理解と関心を高めるため普及活動や、スポーツ活動の育成・指導、指導者の育成・発掘等の活動を行っています。区域の組織として金沢区スポーツ推進委員連絡協議会があり、市・区・地区・各種スポーツ団体が催すスポーツ振興事業の企画への参画や運営協力をしています。(平成28年1月現在 123人)



環境事業推進委員

地域でのごみの減量による脱温暖化に向けた3R(リユース・リデュース・リサイクル)活動と地域の美化や清潔の保持などを推進しています。各地区でのごみ集積場所などにおける分別排出の普及啓発や不法投棄やポイ捨て防止など街の美化にかかわる取組を進めています。(平成28年1月現在 234人)

金沢交通安全協会

交通事故をなくすための活動に取り組んでいる団体です。キャンペーンやイベントなどを通じて、運動への参加・協力を呼びかけるほか、地域や職場などでの自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけています。

また、「はまっ子交通あんぜん教室」による児童への安全教育や、高齢者に対する自転車の安全教室などを実施し、自転車のマナーに関する知識を市民に幅広く周知しています。

金沢防犯協会

「みんなで つくろう 安全な街」をスローガンに、警察や区役所をはじめ関係各機関、地域のボランティアなどと協働し、地域安全活動への協力・支援とともに、少年の健全育成活動などを行う団体です。毎月10日を「防犯の日」とし、防犯キャンペーンの開催や防犯パトロールなどを行っています。

家庭防災員

「自らの家庭は自らの手で守る」ため、家庭や地域における防災の担い手として、防火・防災に関する知識及び技術の研修を受けた人です。地域での自主活動などを通じて防火・防災に関する啓発活動を行っています。(平成28年1月現在 969人)

金沢消防団

普段は仕事を持ちながら、火災発生時の消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導などを行う市町村の消防機関のひとつです。金沢区では8つの分団に分かれて活動しています。

また、平常時においても、訓練のほか、応急手当の普及指導、地域での防災指導、巡回警戒、広報活動など、地域における消防力・防災力の向上や地域コミュニティの維持・振興において重要な役割を担っています。(平成28年1月現在 527人)

6 アンケート調査結果・概要

第3期計画を策定するにあたり、平成26年度に一般区民、障害当事者団体、福祉保健支援団体、民生委員児童委員及び保健活動推進員を対象としたアンケート調査を実施しました。また、平成26年度金沢区子育て実態調査の結果も策定の際に参考にしています。

【各調査の概要】

1. 平成26年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査

(1) 調査項目

属性、日常生活について、生活の心配事について、金沢区地域福祉保健計画について、災害時の助けあいについて、福祉保健活動について 等

(2) 調査概要

ア. 一般区民対象

- ① 調査対象 金沢区在住20歳以上の男女3,500人
- ② 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- ③ 調査方法 郵送による配布、回収
- ④ 調査期間 平成26年8月7日(木)～8月22日(金)
- ⑤ 回収結果 1,880件(53.7%)

イ. 障害当事者団体対象

- ① 調査対象 金沢区社会福祉協議会会員の障害当事者団体代表及び関係者 50人
- ② 調査方法 金沢区社会福祉協議会から郵送及び手渡しによる配布、回収
- ③ 調査期間 平成26年8月7日(木)～9月17日(水)
- ④ 回収結果 43件(86.0%)

ウ. 福祉保健支援団体対象

- ① 調査対象 区内地域ケアプラザで活動している福祉保健支援団体 106団体
金沢区社会福祉協議会会員のボランティア団体・市民活動団体 20団体
- ② 調査方法 区内地域ケアプラザ及び金沢区社会福祉協議会から郵送及び手渡しによる配布、回収
- ③ 調査期間 平成26年8月7日(木)～8月22日(金)
- ④ 回収結果 84件(66.6%)

エ. 民生委員児童委員及び保健活動推進員対象

- ① 調査対象 民生委員児童委員及び保健活動推進員 計542人
- ② 調査方法 郵送による配布、回収
- ③ 調査期間 平成26年8月7日(木)～8月22日(金)
- ④ 回収結果 428件(79.0%)

2. 平成26年度金沢区子育て実態調査

(1) 調査項目

属性、育児に関することについて、パートナーについて、近所づきあいについて、回答者の健康状態について 等

(2) 調査概要

- ① 調査対象 金沢区在住の0～2歳の子を持つ養育者 2,500人
- ② 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- ③ 調査方法 郵送による配布、回収
- ④ 調査期間 平成26年7月7日(月)～8月8日(金)
- ⑤ 回収結果 1,424件(57.0%)



7 委員名簿

金沢区地域福祉保健計画推進委員会委員名簿

(平成26～27年度)

氏名	所属等	備考
有本 梓	横浜市立大学医学部看護学科准教授	平成27年度～
桐原 重孝	公募委員	
草苺 勝	横浜市並木地域ケアプラザ所長	～平成26年度
沓澤 和子	金沢区民生委員児童委員協議会副会長	
清水 啓作	公募委員	
新明 右康	金沢区三師会総合事務局事務長	
菅沼 伸一	横浜市立富岡小学校校長	平成27年度～
鈴木 正徳	金沢南部地区町内会連合会会長	
臺 有桂	横浜市立大学医学部看護学科准教授	～平成26年度
長谷川 典代	金沢区保健活動推進員会副会長	
美戸 孝紀	横浜市並木地域ケアプラザ所長	平成27年度～
三輪 律江	横浜市立大学学術院国際都市学系まちづくりコース准教授	平成27年度～
村上 友利	金沢区社会福祉協議会理事	

(五十音順・敬称略)

金沢区地域福祉保健推進会議委員名簿

(平成 26～27 年度)

氏名	所属等	備考
相澤 宏明	特別養護老人ホーム 若草ホーム施設長	
青木 悦子	金沢区保健活動推進員会会長	
青木 伸一	金沢区民生委員児童委員協議会会長	
池川 明	金沢区医師会会長	～平成 26 年度
小田 兵馬	金沢区三師会会長、金沢区薬剤師会会長(平成 26 年度)	
木川 照美	横浜市泥亀地域ケアプラザ所長	
越田 良仁	金沢区薬剤師会会長	平成 27 年度～
小林 貞夫	金沢区シニアクラブ連合会会長	
田邊 好光	金沢区食品衛生協会会長	
田町 誓一	介護老人保健施設 こもれび施設長	
長瀬 美鳥	金沢区主任児童委員連絡会代表	
蜂谷 將史	横浜南共済病院院長	
林 幹晃	金沢区獣医師会会長	
藤井 正幸	金沢区生活衛生協議会会長	
法花 安代	金沢区食生活等改善推進員会会長	
増田 一行	金沢区社会福祉協議会会長	
松井 伸道	金沢区歯科医師会会長	
横井 正巳	金沢区町内会連合会会長	
吉田 拓郎	特定非営利活動法人 金沢の精神保健福祉を考え推進する会理事長	
若栗 直子	金沢区医師会会長	平成 27 年度～
林 琢己	金沢区長	～平成 26 年度
國原 章弘	金沢区長	平成 27 年度～
齋藤 泉	金沢区副区長	
富田 千秋	金沢区福祉保健センター長	
川崎 圭子	金沢区福祉保健センター担当部長	～平成 26 年度
新井 勉	金沢区福祉保健センター担当部長	平成 27 年度～
葛西 隆	金沢土木事務所長	～平成 26 年度
島 悟司	金沢土木事務所長	平成 27 年度～

(区職員以外五十音順・敬称略)



金沢区幸せお届け大使
ぼたんちゃん

平成 28 年 3 月発行

横浜市金沢区福祉保健課

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀2-9-1 電話:045-788-7824 FAX:045-784-4600
Eメール:kz-fukuho@city.yokohama.jp <http://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/>

社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀1-21-5 電話:045-788-6080 FAX:045-784-9011
Eメール:info@kanazawa-shakyo.jp <http://www.kanazawa-shakyo.jp/>

表紙:歌川広重「金沢八景」/神奈川県立金沢文庫 所蔵